復興推進委員会資料

令和６年能登半島地震・奥能登豪雨

# 能登町復興計画（最終案）
# 資料編

# 目　次


1　地震や豪雨の概要及び被害の状況 ..... 1
1-1　令和６年能登半島地震の概要 ..... 1
1-2　令和６年能登半島地震のメカニズム ..... 2
1-3　地震による能登町の被害状況 ..... 3
1-4　応急・復旧活動 ..... 6
1-5　令和６年奥能登豪雨の概要 ..... 10
1-6　奥能登豪雨による能登町の被害状況 ..... 11

2　復興に向けたこれまでの取組 ..... 13
2-1　復興まちづくり意見交換会 ..... 13
2-2　住民が意見を出せる場所づくり ..... 14
2-3　復興まちづくり対話会 ..... 15
2-4　復興推進委員会・部会 ..... 16
2-5　復旧・復興本部会議 ..... 17
2-6　令和６年能登半島地震復旧・復興連絡協議会 ..... 17
2-7　アンケート調査 ..... 18

3　復興推進委員会・部会 ..... 45
3-1　復興計画推進委員会設置要綱 ..... 45
3-2　復興推進委員会委員名簿 ..... 47

# 1　地震や豪雨の概要及び被害の状況

## 1－1　令和６年能登半島地震の概要

令和６年１月１日(月)16 時 10 分頃、石川県能登地方を震源とするマグニチュード 7.6 の地震が発生しました。この地震により、本町の広い範囲で震度６強や６弱の揺れを観測しました。

地震により、石川県で大津波警報が発表され、本町では４ｍ以上の津波の浸水高を観測するなど、能登半島の広い地域で津波による浸水が認められました。

**＜発生時刻＞**　令和６年１月１日 16 時 10 分頃
**＜震源地＞**　石川県能登地方（震源の深さ 約 16ｋｍ）
**＜地震の規模＞**　マグニチュード 7.6
**＜県内の震度＞**
- 震度７　：輪島市、志賀町
- 震度６強：七尾市、珠洲市、穴水町、能登町（松波）
- 震度６弱：中能登町、能登町（宇出津、柳田）
- 震度５強：金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、宝達志水町
- 震度５弱：白山市、津幡町、内灘町
- 震度４　：野々市市、川北町

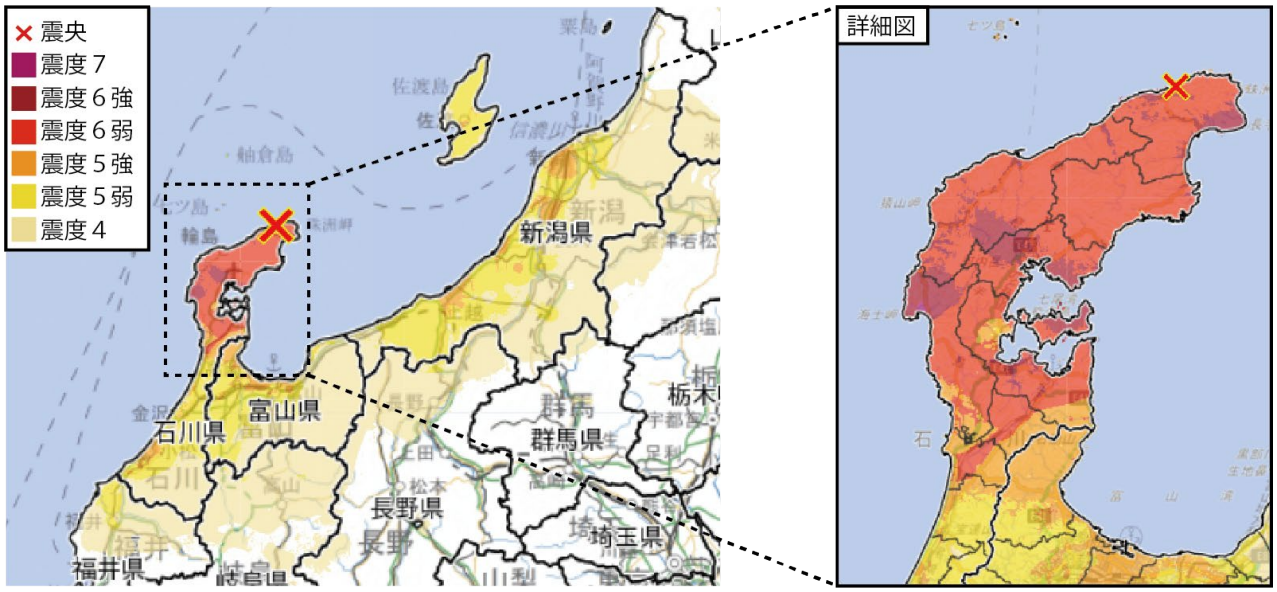



**図　1－1　地震の概要**
出典：気象庁ホームページ「推計震度分布」を加工して作成

# 1-2　令和６年能登半島地震のメカニズム

## （１）　地震発生の要因

震源域が能登半島北岸に沿うように北東・南東方向に延びており、南東に傾斜した複数の断層が連動した地震であると考えられています。また、地下の流体が徐々に浅い所まで上昇し、能登半島の直下のあたりに溜まっていたことで、滑りやすくなり、複数の断層が広範囲でずれたことで、大地震が発生したと考えられています。

## （２）　メカニズム

### １）　隆起

地震発生の要因となった断層は、陸と海の境目付近の直下にあり、半島側の地盤が、海側の地盤に乗り上げるようにずれることで、半島北部が隆起したとみられています。

### ２）　津波

海岸に近い活断層が大きく動いたため、第１波がすぐに到達し、さらに遠浅の地形も影響し、津波が海底で跳ね返るなどして、繰り返し押し寄せました。気象庁の現地調査では、能登町白丸で 4.7m の津波の痕跡を確認しています。ただし、半島北岸は隆起によって津波の浸水被害が起きにくかったとも考えられています。

### ３）　余震

大きな地震は断層の破壊領域が大きいため、断層面上の様々な場所で余震が起こりました。同日 16 時 12 分にマグニチュード 5.7 の地震（最大震度６弱）、16 時 18 分にマグニチュード 6.1 の地震（最大震度５強）、６日 23 時 20 分にマグニチュード 4.3 の地震（最大震度６弱）、９日 17 時 59 分にマグニチュード 6.1 の地震（最大震度５弱）が発生するなど、令和６年３月末までの間に、最大震度１以上を観測した地震は 1,772 回発生しています。

## 1-3 地震による能登町の被害状況（令和６年 12 月１日時点）

令和６年 12 月１日時点の町内の被害状況を整理しました。被害箇所数や被害額は、査定に基づき整理しています。

### （１） 人的被害

| 死者 | | 負傷者 | | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 直接死 | 災害関連死 | 重傷 | 軽傷 | |
| ２人 | 44 人 | 28 人 | 25 人 | 99 人 |

### （２） 家屋被害（住家）

| 全壊 | 大規模半壊 | 中規模半壊 | 半壊 | 準半壊 | 一部損壊 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 254 棟 | 104 棟 | 172 棟 | 691 棟 | 1,086 棟 | 3,436 棟 | 5,743 棟 |

### （３） 公共土木施設被害

| | |
|---|---|
| **被害状況** | ● 道路　被災路線数 454 路線　被害額 225 億円<br>● 河川　―（豪雨災害に統合）<br>● 砂防　被害箇所数 ２箇所　被害額 １億円<br>● 橋梁　被害箇所数 23 橋　被害額 25 億円 |

## （４）　農林水産業被害

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 被害状況 | ● | 農地 | 被災箇所数 697 箇所 | 被害額 30 億円 |
| | ● | 農業用施設 | 被災箇所数 1,092 箇所 | 被害額 141 億円 |
| | ● | 林道 | 被災路線数 38 路線 | 被害額 12 億円 |
| | ● | 漁港 | 被災漁港数 10 漁港 | 被害額 46 億円 |

## （５）　ライフライン被害

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 被害状況 | ● | 上水道 | 修繕箇所 1,029 件 | 復旧費 34 億円（応急復旧・本復旧合計） |
| | ● | 公共下水 | 被災延長 19.0km | 被害額 52 億円 |
| | ● | 農集排 | 被災延長 35.5km | 被災額 31 億円 |
| | ● | 漁集排 | 被災延長 1.2km | 被害額 3.4 億円 |
| | ● | 浄化槽 | 被災数 181 基 | 被災額 3.8 億円 |

## （６）　上水道被害

| | |
|---|---|
| 被害状況 | ● 6,220 戸断水（５/２全解除） |

## （７） 津波被害（※ 国土交通省調べ　速報値）

| | |
|---|---|
| **被害状況** | ● 浸水面積 約 63ha（松波～内浦長尾、宇出津　等） |

## （８） 火災被害

| 発生地区 | 覚知時刻 | 死傷者 | 焼損棟数 | 焼損床面積数 |
|---|---|---|---|---|
| 白丸地区 | 1 月 1 日 22:16 | なし | 11 棟 | 1,727 ㎡ |

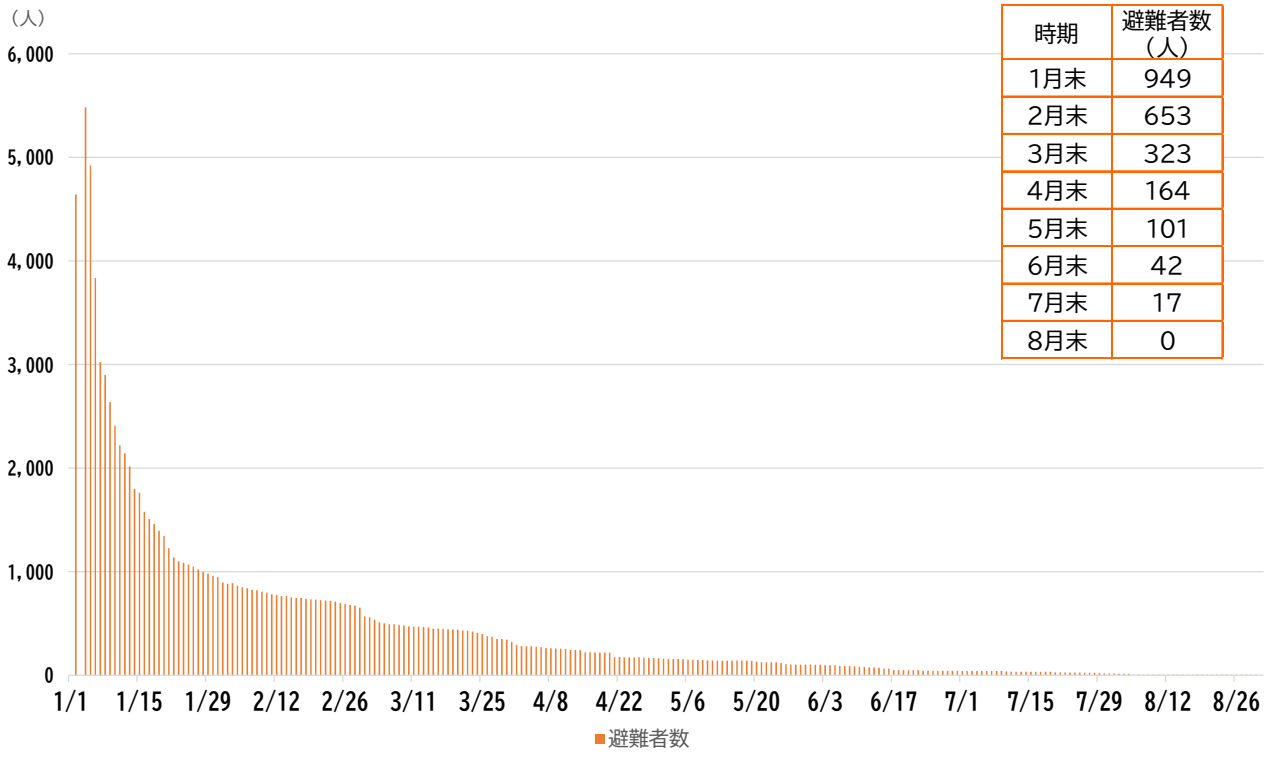
## （９） 集落被害

| | |
|---|---|
| 孤立集落 | 北河内地区　（１月５日道路啓開のため解消）<br>桐畑地区　（１月５日道路啓開のため解消）<br>十郎原地区　（１月５日道路啓開のため解消）<br>田代地区　（１月５日避難完了のため解消）<br>水滝地区　（１月 17 日避難完了のため解消）<br>柳田信部　（１月 17 日避難完了のため解消） |

# 1-4　応急・復旧活動

## （1）　避難所の開設状況

| | |
|---|---|
| 開設状況 | ● 町内避難所 72 カ所、最大避難者 5,481 人（１月４日）<br>● ８月 31 日避難所閉鎖 |

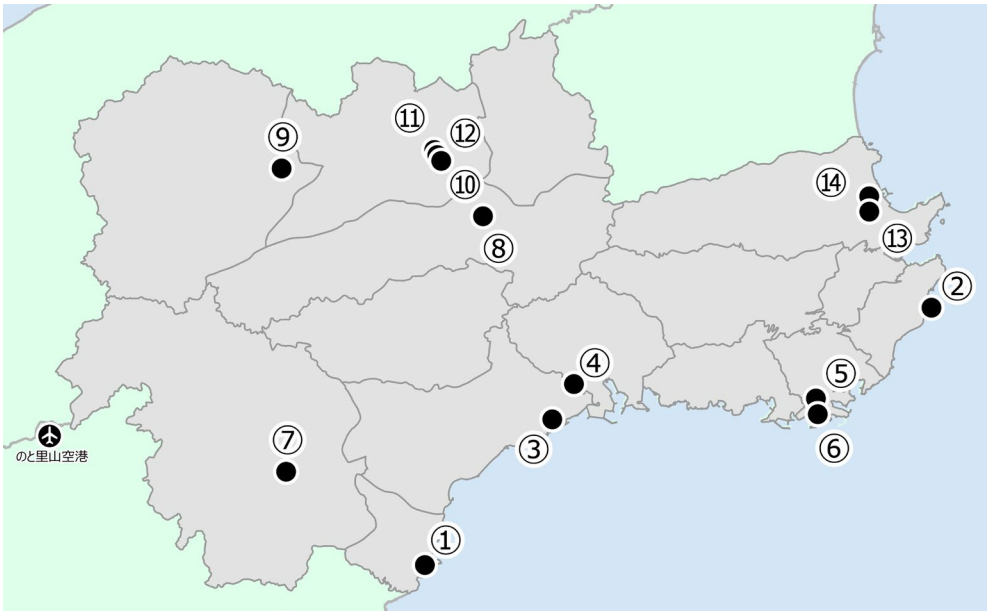



| 時期 | 避難者数（人） |
|---|---|
| 1月末 | 949 |
| 2月末 | 653 |
| 3月末 | 323 |
| 4月末 | 164 |
| 5月末 | 101 |
| 6月末 | 42 |
| 7月末 | 17 |
| 8月末 | 0 |

## （２） 応急仮設住宅の整備

| | |
|---|---|
| **整備状況** | ● 応急仮設住宅（建設型） 全 14 団地等 571 戸整備<br>● 賃貸型応急住宅（みなし仮設住宅） 延べ 238 戸入居 |

| No. | 応急仮設住宅名 | 建設戸数(戸) | No. | 応急仮設住宅名 | 建設戸数(戸) |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | うかわ団地 | 81 | ⑨ | いわいど団地 | 22 |
| ② | しろまる団地 | 42 | ⑩ | やなぎだ第１団地 | 38 |
| ③ | ふじなみ第１団地 | 123 | ⑪ | やなぎだ第２団地 | 20 |
| ④ | しあけがおか団地 | 30 | ⑫ | やなぎだ第３団地 | 3 |
| ⑤ | おぎ第１団地 | 26 | ⑬ | まつなみ第１団地 | 76 |
| ⑥ | おぎ第２団地 | 40 | ⑭ | まつなみ第２団地 | 22 |
| ⑦ | みずほ団地 | 12 | — | その他 | 2 |
| ⑧ | かんまち団地 | 34 | 計 | | 571 |



## （３）　文教施設（仮設校舎・体育館）の整備

| | |
|---|---|
| **整備状況** | ●　松波小学校仮設校舎、仮設体育館の整備 |

## （４）　自治体からの支援

| | |
|---|---|
| **支援内容** | 発災直後から対口支援や姉妹都市等、全国の多くの自治体からご支援いただきました。<br>●　対口支援　滋賀県、和歌山県、茨城県、宮城県、岩手県<br>●　姉妹都市　千葉県流山市、宮崎県小林市、長野県信濃町 |

## （５）　寄付金・義援金等（令和６年 12 月１日時点）　※ 豪雨災害と合算

| | |
|---|---|
| **支援内容** | ●　ふるさと納税災害支援寄付金　679,963 千円（代理受付団体 52 自治体）<br>●　緊急災害支援企業版ふるさと納税　219,430 千円<br>●　町災害義援金（豪雨災害と合算）　591,221 千円（累計 4,293 件） |

＜救助・救出活動の様子＞

＜医療チームによる支援の様子＞

＜応急給水活動の様子＞

＜災害ボランティア活動の様子＞

＜情報共有会議の様子＞

# 1-5 令和６年奥能登豪雨の概要

令和６年９月 20 日頃から日本海から東北地方付近に前線が停滞し、台風第 14 号から変わった低気圧の影響により、石川県では 21 日午前中に線状降水帯が発生しました。この線状降水帯による集中豪雨が原因により、輪島市、珠洲市及び能登町に大雨特別警報が発表され、河川の氾濫や土砂崩れが発生し、甚大な被害がもたらされました。

**＜発生地＞　石川県能登半島北部**
**＜大雨特別警報発表地域＞　輪島市、珠洲市、能登町**
**＜発生時期＞　令和６年９月 21 日から令和６年９月 23 日**
**＜避難指示＞　全域（９月 21 日 10:50）7,047 世帯　14,776 人**
**解除（９月 23 日 10:45）**

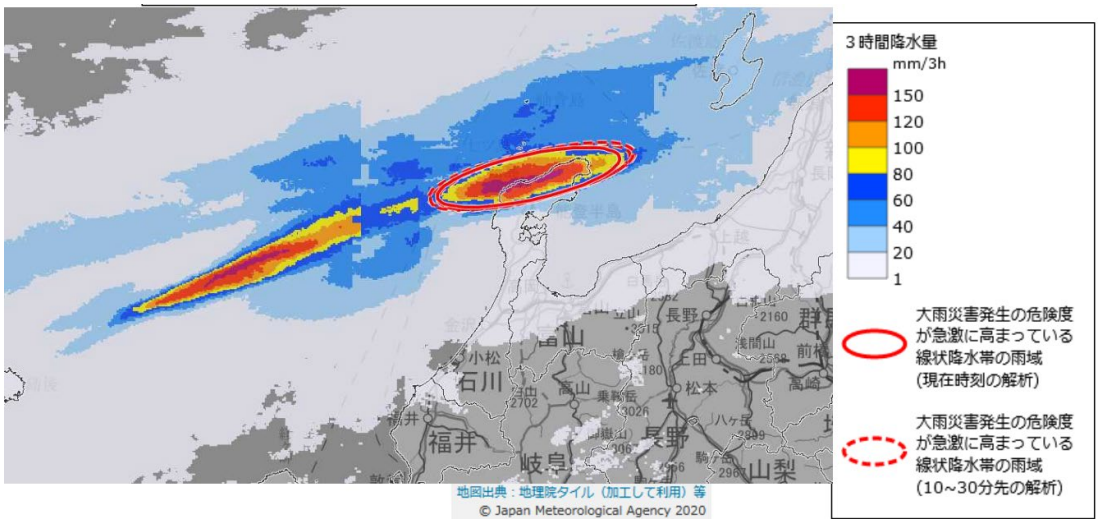



**図 1-2　2024 年９月 21 日時点３時間降水量**

出典：国土交通省

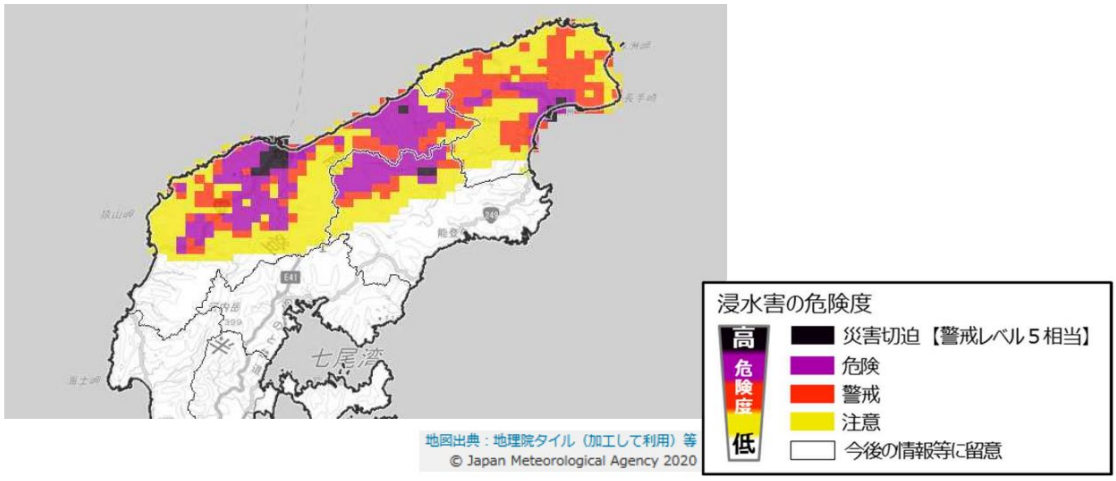



**図 1-3　2024 年９月 21 日時点浸水害危険度分布**

出典：国土交通省

# 1-6 奥能登豪雨による能登町の被害状況（令和６年 12 月１日時点）

令和６年 12 月１日時点の町内の被害状況を整理しました。被害箇所数や被害額は、査定に基づき整理しています。

## （１） 人的被害

| 死者 | 負傷者 | | 計 |
|---|---|---|---|
| | 重傷 | 軽傷 | |
| ２人 | １人 | ２人 | ５人 |

## （２） 家屋被害（住家）

| 半壊 | 一部損壊 | 計 |
|---|---|---|
| ５棟 | 29 棟 | 34 棟 |

## （３） 公共土木施設被害等

| | |
|---|---|
| **被害状況** | ● 道路　被災路線数　１路線　　被害額　0.1 億円<br>● 河川　被災河川数　13 河川　　被害額　103.5 億円 |
| **主な氾濫河川** | ● 二級河川：町野川、山田川、上町川、神野川、梶川、九里川尻川<br>● 普通河川：波並川、寺分川、日詰脇川 |
| **断水** | ● 断水　最大 640 戸<br>● 営農飲雑用水　鮭尾 22 戸（27 日 17 時復旧）<br>● 給水場設置（９/23～10/６） |
| **停電** | ● 最大 230 戸 |

## （４） 農林水産業被害

| | |
|---|---|
| 被害状況 | ● 農地　被災箇所数 617 箇所　被害額 29 億円<br>● 農業用施設　被災箇所数 547 箇所　被害額 21.5 億円<br>● 林道　被災件数 ５件　被害額 0.3 億円 |

## （５） 集落被害

| | |
|---|---|
| 孤立集落 | 北河内地区　（９月 26 日 11:00 道路啓開のため解消）<br>田代地区　（９月 23 日 18:00 避難完了のため解消）<br>桐畑地区　（９月 22 日 18:00 道路啓開のため解消） |

## （６） 避難所開設・避難者数

| | |
|---|---|
| 避難所開設 | 18 箇所【９/21～10/25】 |
| 最大避難者数 | 168 人 |

# 2　復興に向けたこれまでの取組

## 2-1　復興まちづくり意見交換会

本町の復興に向け、復興まちづくり意見交換会を 15 回実施し、延べ 564 人が参加しました。

表　復興まちづくり意見交換会の実施概要

| 日時 | | 地区 | 会場 | 参加者数 |
|---|---|---|---|---|
| 5/17（金） | 10:00～11:30 | 瑞穂 | 瑞穂公民館 | 43 名 |
| | 14:00～15:30 | 神野 | 神野公民館 | 38 名 |
| | 18:30～20:00 | 高倉 | 高倉公民館 | 34 名 |
| 5/18（土） | 18:30～20:00 | 宇出津 | 役場２階大集会場 | 68 名 |
| 5/20（月） | 14:00～15:30 | 不動寺・秋吉 | 内浦総合支所会議室 | 26 名 |
| | 18:30～20:00 | 松波 | 内浦総合支所会議室 | 47 名 |
| 5/21（火） | 14:00～15:30 | 上町 | 上町公民館 | 31 名 |
| | 18:30～20:00 | 柳田 | 柳田公民館 | 37 名 |
| 5/22（水） | 14:00～15:30 | 小間生 | 小間生公民館 | 15 名 |
| | 18:30～20:00 | 小木 | 小木地域交流センター | 44 名 |
| 5/23（木） | 14:00～15:30 | 岩井戸 | 岩井戸公民館 | 19 名 |
| | 18:30～20:00 | 白丸 | 白丸公民館 | 53 名 |
| 5/24（金） | 10:00～11:30 | 三波 | 三波公民館 | 21 名 |
| | 18:30～20:00 | 鵜川 | 鵜川小学校体育館 | 66 名 |
| 5/25（土） | 13:30～15:00 | 町外に避難されている方 | 石川県地場産業振興センター | 22 名 |
| 合計 | | ― | ― | 564 名 |

＜宇出津地区＞

＜神野地区＞

能登町復興まちづくり意見交換会の様子

# 2-2　住民が意見を出せる場所づくり

## （1）　SWOTボードの設置

本町の現状を把握するため、町の強み（Strengths）、弱み（Weaknesses）、機会（Opportunities）、脅威（Threats）の４区分に分け、訪れた人が自由に意見を書けるボードを役場内に設置しました。

■意見数（令和６年 11 月 21 日時点）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 強み（Strengths） | 56 件 | 弱み（Weaknesses） | 32 件 | |
| 機会（Opportunities） | 65 件 | 脅威（Threats） | 29 件 | 計 182 件 |

## （2）　SWOTの成果の活用

記入された意見をもとに復興推進委員会各部会でワークショップを行い、10 年後のつくりたい能登町の未来について検討を行いました。

また、寄せられた意見は、復興計画の策定にあたり方向性や取組の検討に生かしました。

## 2-3 復興まちづくり対話会

本町の復興に向け、まちの未来について話し合う復興まちづくり対話会「のと未来カイギ」を実施しました。

表　復興まちづくり対話会の実施概要

| 名称/場所 | 日時 | 対話のテーマ | 参加者数 |
|---|---|---|---|
| 第１回のと未来カイギ<br>@大屋根広場「みなとのニワ」 | 7/14（日）<br>14:00～17:00 | ・私たちのほしい未来<br>・私たちだからできること<br>・持ち帰りたい気づき | 18 名<br>※中高生対象 |
| 第２回のと未来カイギ<br>@星の観察館「満天星」 | 8/11（日）<br>14:00～17:00 | ・震災後の暮らしの中で足りないもの/残したいものは何か<br>・新しく作りたいもの/必要なものを考える | 26 名 |

＜第１回　のと未来カイギ＞

＜第２回　のと未来カイギ＞

のと未来カイギの様子

# 2-4 復興推進委員会・部会

復興計画の策定に向け、復興推進委員会及び部会を開催しました。

**表　復興推進委員会・部会の実施概要**

| 委員会 部会 | | 日時 | 実施概要 |
|---|---|---|---|
| 復興推進委員会 | 第１回 | ５/16（木）15:00～16:30 | ● 復興計画の策定について |
| | 第２回 | ５/28（火）15:00～16:10 | ● 復興計画（素案）について<br>● 住民アンケート調査項目について |
| | 第３回 | ８/29（木）15:30～17:00 | ● 復興計画（中間案）について |
| | 第４回 | 12/26（木）13:30～15:30 | ● 復興計画（最終案）について |
| 復興推進委員会・部会 | 第１回 | 産業・経済復興部会<br>６/19（水）13:30～15:30<br>すまいと暮らしの再建・安全な地域づくり部会<br>６/20（木）14:00～16:00 | ● ＳＷＯＴ（能登町の強み弱み・機会・脅威）から考える<br>● 発災後の対応を何もしなかったまちの未来を考える<br>● 10 年後のつくりたいまちの未来を考える |
| | 第２回 | ７/25（木）13:30～15:30 | ● 「つくりたいまちの未来」を考える<br>● 「つくりたいまちの未来」の中から大切な項目や重要な項目を選ぶ<br>● 10 年後に実現するために具体的に必要なもの（リソース）を考える |
| | 第３回 | 10/１（火）13:30～15:30 | ● 復興プロジェクト等の創出について |
| | 第４回 | 12/５（木）13:30～15:30 | ● 復興計画（最終案）たたき台について |

＜復興推進委員会＞

＜復興推進委員会・部会＞

復興推進委員会・部会の様子

## 2-5 復旧・復興本部会議

| 年度 | 回数 | 実施日 | 実施概要 |
|---|---|---|---|
| 令和５年度 | 第１回 | ３/15（金） | ● 基本理念について |
| 令和６年度 | 第１回 | ５/16（木） | ● 復興計画の策定スケジュールについて<br>● 基本方針について |
| | 第２回 | ５/29（水） | ● 復興計画（素案）について |
| | 第３回 | ６/14（金） | ● 復興計画策定にかかる今後のスケジュール等について<br>● 復興に向けた「庁内プロジェクトチーム」の設置について<br>● 被災者支援連絡会議について |
| | 第４回 | ７/31（水） | ● 復興計画（中間案）たたき台について |
| | 第５回 | ８/29（木） | ● 復興計画（中間案）について |
| | 第６回 | ９/30（月） | ● 復興計画策定に向けたスケジュール変更について |
| | 第７回 | 10/28（月） | ● 復興計画（最終案）たたき台の作成に向けて |
| | 第８回 | 11/29（金） | ● 復興計画（最終案）たたき台について |
| | 第９回 | 12/26（木） | ● 復興計画（最終案）について |

## 2-6 令和６年能登半島地震復旧・復興連絡協議会

| 年度 | 回数 | 実施日 | 実施概要 |
|---|---|---|---|
| 令和６年度 | 第１回 | ４/17（水） | ● 各課局の現状・今後の予定等について<br>● 復興計画の策定スケジュールについて |
| | 第２回 | ５/10（金） | ● 各課局の現状・今後の予定等について<br>● 復興計画の策定等について<br>● 議会からの協議について |
| | 第３回 | ６/３（月） | ● 各課局の現状・今後の予定等について<br>● 復興計画の策定等について |
| | 第４回 | ８/27（火） | ● 各課局の現状・今後の予定等について<br>● 東日本大震災・熊本地震における被災地視察について<br>● 復興計画（中間案）について |
| | 第５回 | 12/24（火） | ● 各課局の現状・今後の予定等について<br>● 復興計画（最終案）について |

復旧・復興連絡協議会の様子

# 2-7　アンケート調査

## （1）　町民アンケート調査

復興計画の策定にあたり、町民の想いや考えを反映した計画とするため、全町民を対象としたアンケート調査を実施しました。

**表　町民アンケート調査の概要**

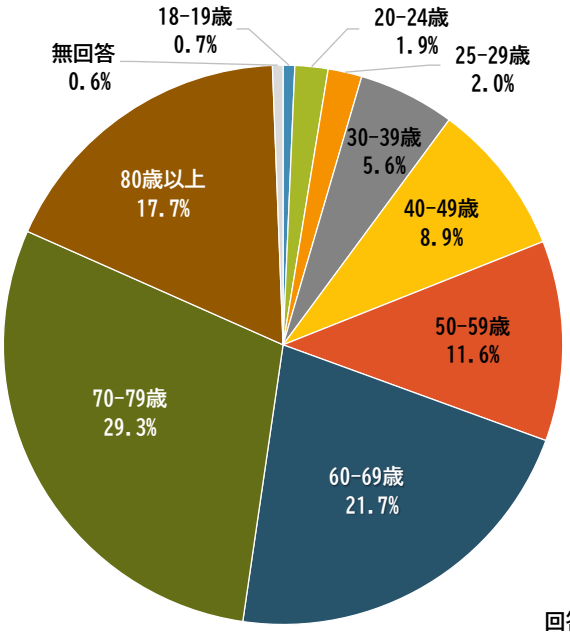
| | |
|---|---|
| **調査期間** | 令和６年６月 25 日（火）～７月 19 日（金） |
| **配布数** | 令和６年１月１日時点で能登町にお住まいの 18 歳以上の町民（13,789 名） |
| **調査項目** | ○個人属性　○住まいについて　○仕事について<br>○能登町の将来について　○能登町の良いところ、自慢できること<br>○避難行動について　○復興に向けた計画づくりなどの意見・要望 |
| **回答数・回収率（８/19 時点）** | 回答数：4,604 部（郵送回収：4,094 部、Ｗｅｂ：回収：510 部）<br>回収率：33.4% |
| **結果概要（1/2）** | **１．ご自身について**<br>・年代は 60 歳以上が 68.8%を占め、高齢者の割合が高い。<br>・能登町での居住年数は、「30 年以上」が 79.2%となっている。<br><br>**２．お住まいについて**<br>・今後の居住意向として、震災前と別の場所（町内または町外）を希望する町民の割合は 15.0%となっている。「わからない」は 11.8%となっている。<br>・震災前と別の場所に住みたい理由としては、「地震・津波・土砂災害が心配」が 54.8%で最も高く、次いで「買い物や生活が不便」が 48.3%の順となっている。<br><br>**３．お仕事について**<br>・震災による仕事への影響としては「施設や設備等の被害」が 54.7%で最も高く、次いで「事業の縮小や収入の減少」が 34.0%の順である。<br>・町内で事業再開する上での課題について、「事業の後継者がいない」が 31.2%で最も高く、「新たな設備投資が必要になる」が 26.7%である。<br><br>**４．能登町の将来について**<br>・これからのくらしで不安に感じることとして、「余震や二次災害の発生」が 67.2%で最も高く、次いで「将来的に大きな災害が起きる可能性」が 63.3%の順となっている。<br>・復興計画の５本の柱に沿った関心事項は以下のとおりである。<br>①インフラの早期再生と強靭化：「道路の早期復旧」が 64.0%で最も高く、次いで「上下水道の早期復旧」が 27.9%の順である。 |

| | |
|---|---|
| **結果概要**<br>**(2/2)** | ②くらしと地域コミュニティの再建：「公費解体の早期処理」が 32.1%で最も高く、次いで「住宅の耐震化支援、宅地の復旧支援」が 26.2%の順である。<br>③生業の再建：「事業再開に向けた支援」が 19.3%で最も高く、次いで「漁業の振興」が 13.4%の順である。<br>④安心してくらし続けられるまちづくり：「被災者への経済的支援（支援金、義援金、給付金等）」が 41.0%で最も高く、次いで「保健、医療体制の充実」が 17.8%の順である。<br><br>**5．能登町の良いところ・自慢できるところ**<br>・「自然が豊か・美しい景観がある（838 件）」「食べ物が美味しい（495 件）」「人が優しい（269 件）」「祭りや伝統文化がある（249 件）」「地域の結びつきが強い（181 件）」といった意見が多くあげられた。<br><br>**6．避難行動について**<br>・全体の 67.4%が「避難した」と回答した。<br>・避難しなかった／できなかった理由としては「自宅が安全だと思った・避難の必要がなかったから」が 54.5%で最も高く、次いで「避難場所までの移動が困難だったから」が 10.6%の順となっている。 |

## 1．あなたご自身のことについて

あなたの年齢を教えてください。

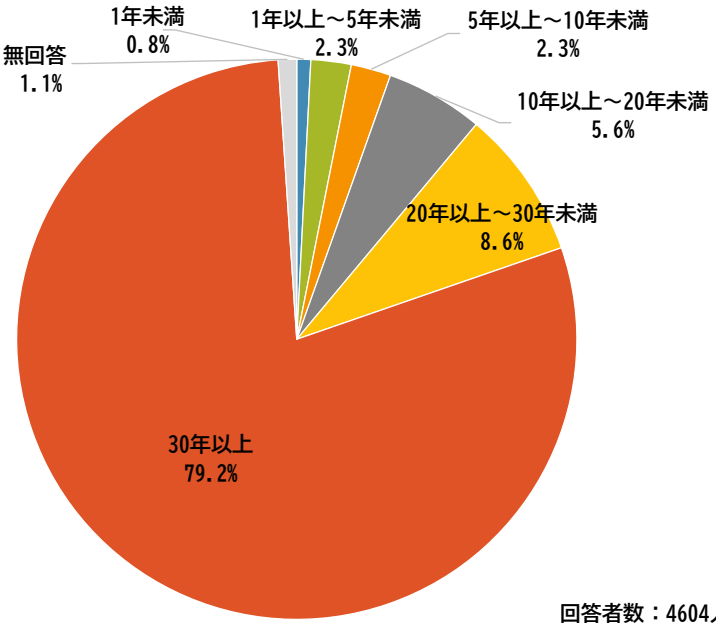
年齢は、20 代以下が 4.6%、70 歳以上が約半数であった。




回答者数：4604人

令和６年１月１日時点で、あなたは能登町に通算何年住んでいましたか。

能登町の居住年数は、「30 年以上」が最も多く、79.2%であった。

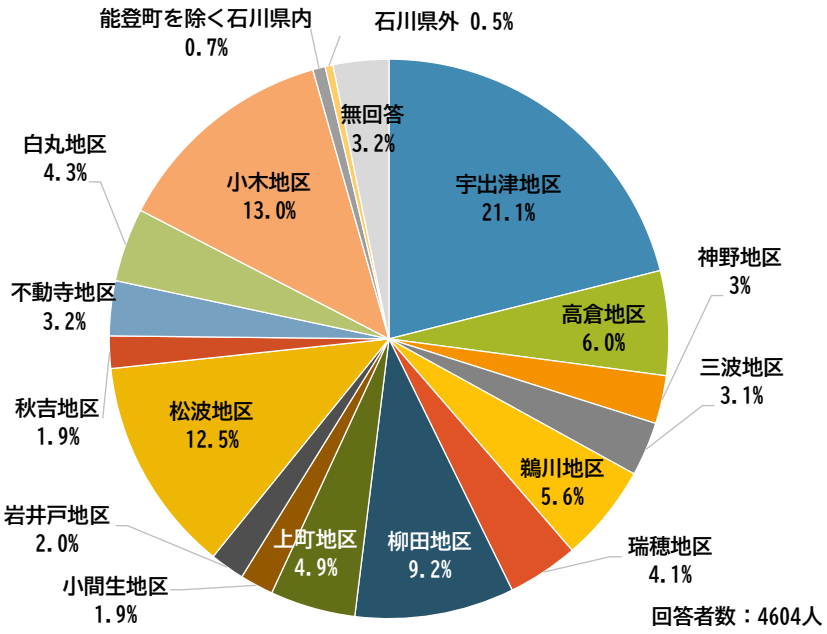



回答者数：4604人

## 2．あなたのお住まいについて

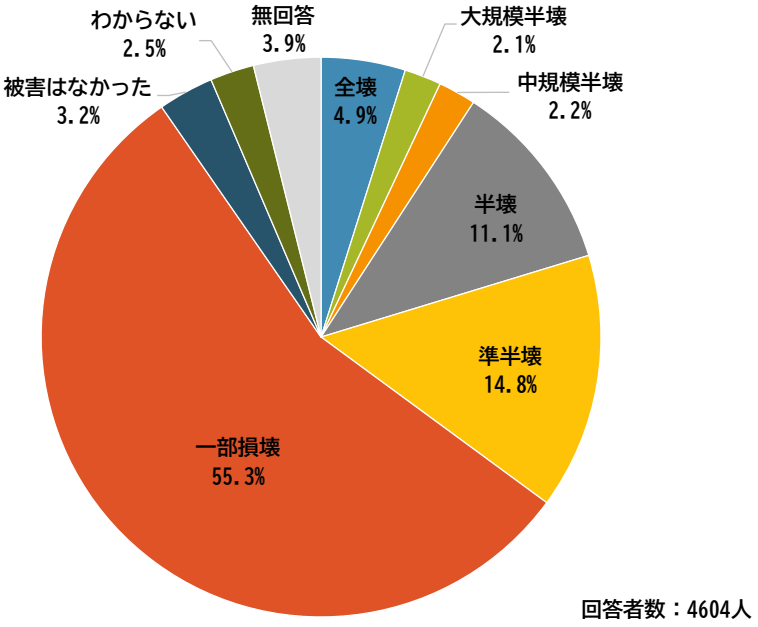
あなたの震災前の居住場所を教えてください。

「宇出津地区」が 21.1%で最も高く、次いで「小木地区」が 13.0%の順となっている。



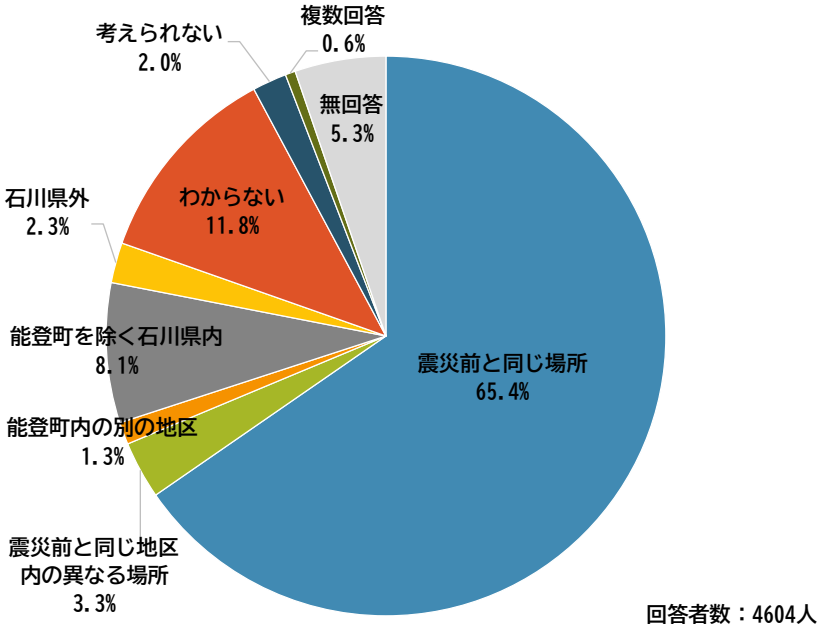

あなたのご自宅の被災状況を教えてください。

「一部損壊」が 55.3%で最も高く、次いで「準半壊」が 14.8%の順となっている。



あなたは今後、どこに住みたいと思いますか。

「震災前と同じ場所」が 65.4%で最も高く、次いで「わからない」が 11.8%の順となっている。

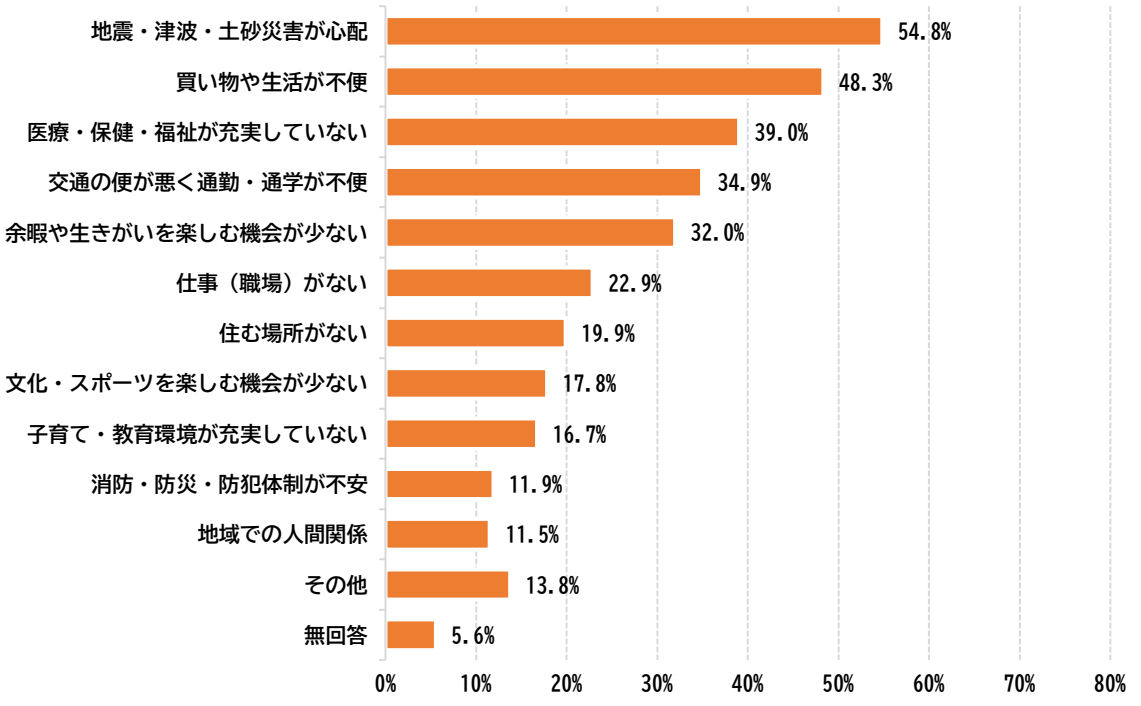



回答者数：4604人

上記で「3. 能登町内の別の地区」「4. 能登町を除く石川県内」「5. 石川県外」とお答えになった方におたずねします。

あなたが震災前に居住していた地区から移転したい・移転した理由を教えてください。

「地震・津波・土砂災害が心配」が 54.8%で最も高く、次いで「買い物や生活が不便」が 48.3%の順となっている。

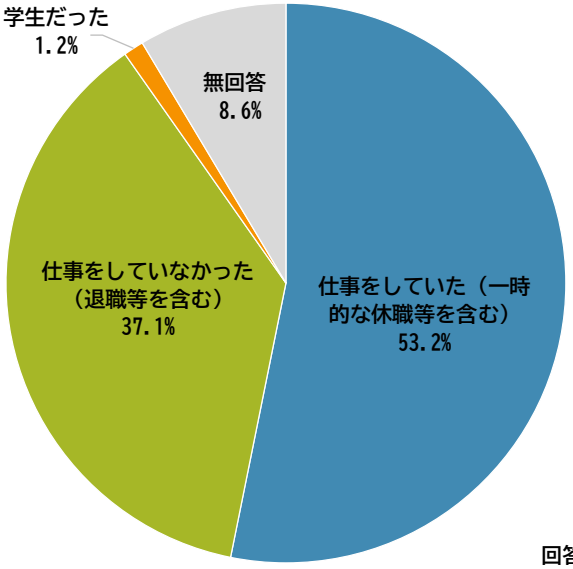



回答者数：538人

## 3.あなたのお仕事について

震災前（令和５年 12 月時点）に、あなたはお仕事をされていましたか。

全体の 53.2%が「仕事をしていた（一時的な休職等を含む）」、37.1%が「仕事をしていなかった（退職等を含む）」となっている。

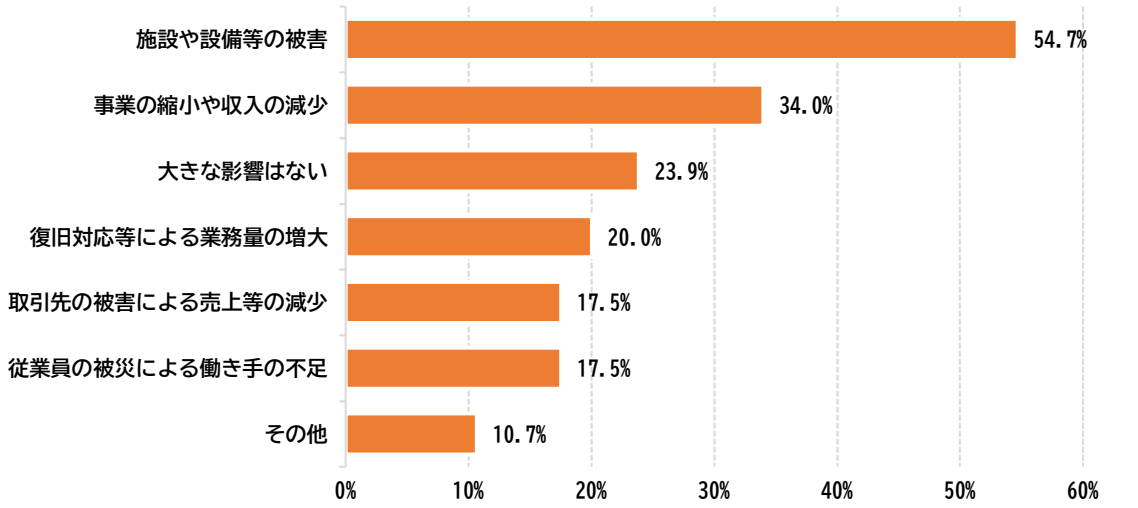



回答者数：4604人

以下、震災前（令和５年 12 月時点）に、能登町内で自営業・農林水産業を営んでいた方におたずねします。

あなたの震災前の仕事の被害・影響について教えてください。

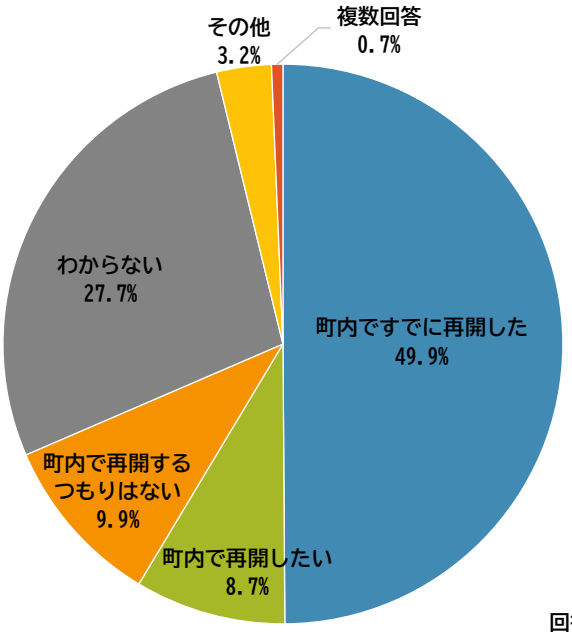
「施設や設備等の被害」が 54.7%で最も高く、次いで「事業の縮小や収入の減少」が 34.0%の順となっている。




回答者数：918人

能登町内で事業を再開したいと思いますか。

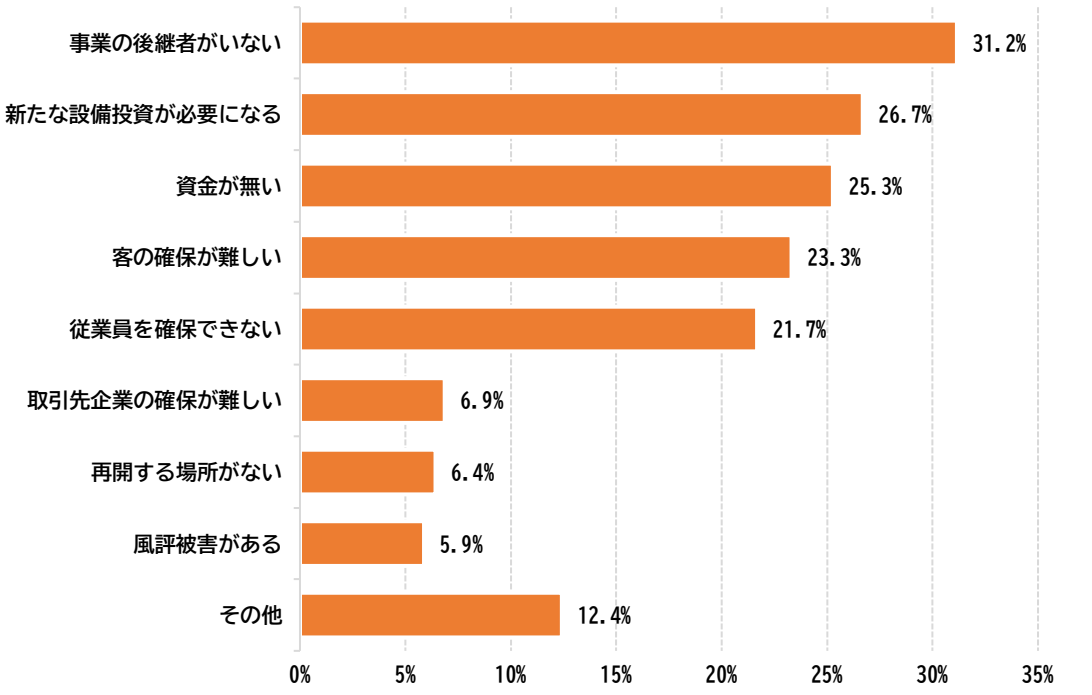
「町内ですでに再開した」が 49.9%で最も高く、次いで「わからない」が 27.7%の順となっている。




回答者数：918人

能登町内で事業再開するうえでの課題は何ですか。

「事業の後継者がいない」が 31.2%で最も高く、次いで「新たな設備投資が必要になる」が 26.7%の順となっている。

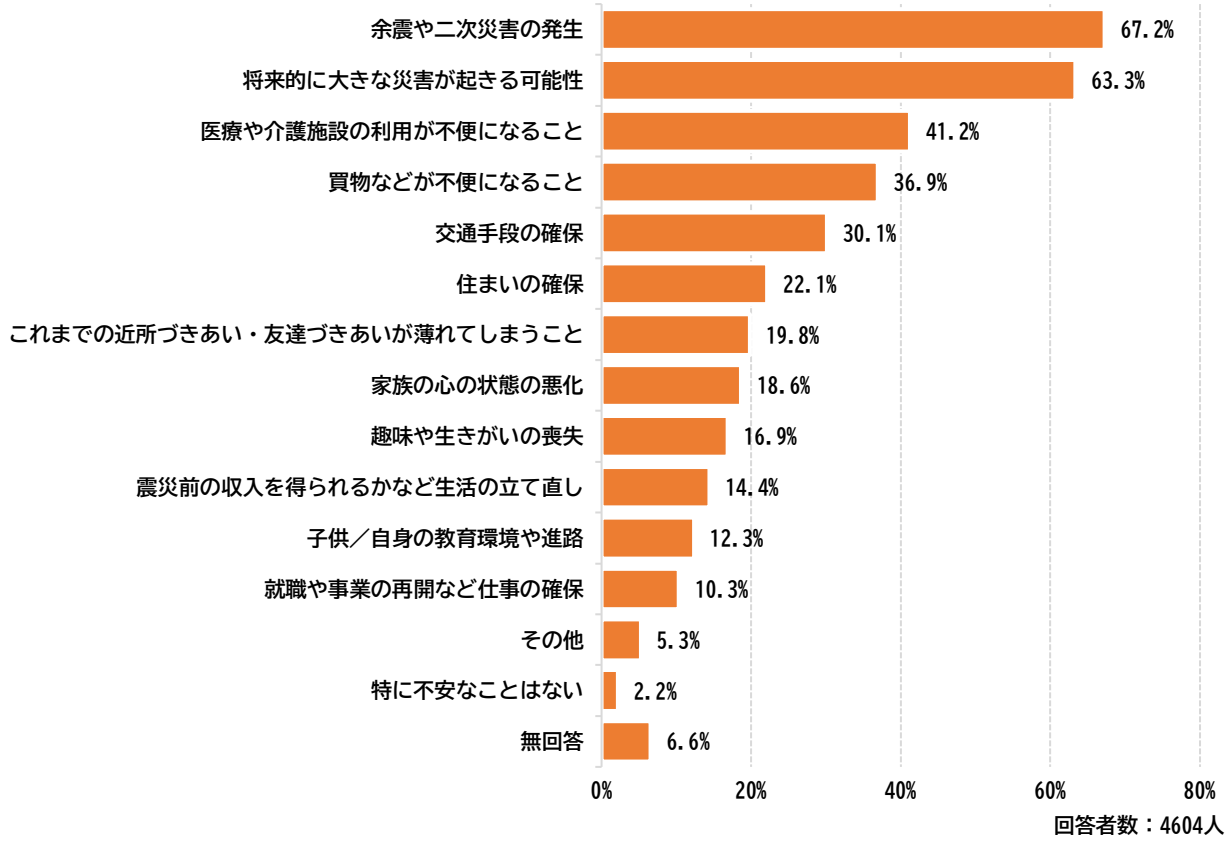



回答者数：918人

## ４．能登町の将来について

これからのくらしについて不安に感じることはありますか。

「余震や二次災害の発生」が 67.2%で最も高く、次いで「将来的に大きな災害が起きる可能性」が 63.3%、「医療や介護施設の利用が不便になること」が 41.2%の順となっている。

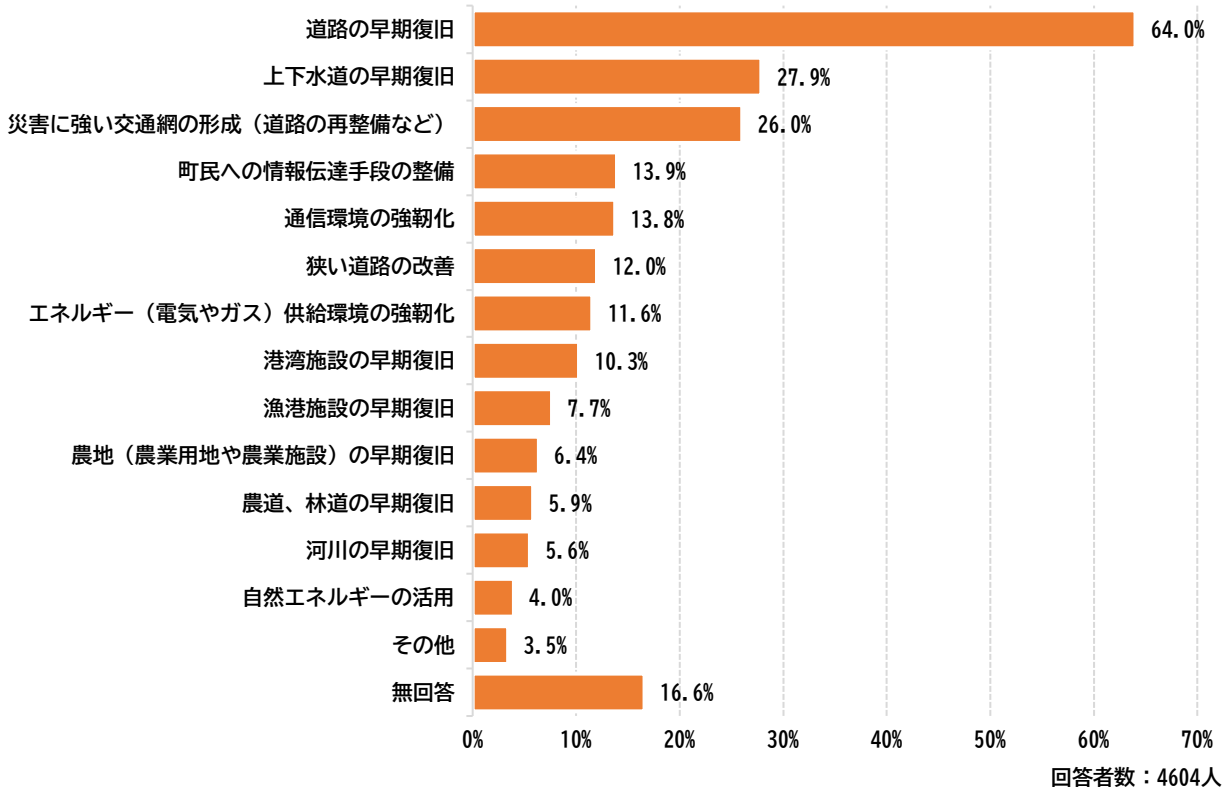



回答者数：4604人

現在、能登町では復興に向けて、「①インフラの早期再生と強靭化」「②くらしと地域コミュニティの再建」「③生業(なりわい)の再建」「④安心してくらし続けられるまちづくり」「⑤復興プロジェクトの創出」の５本の柱で施策の検討を進めています。以下のア）～エ）の質問にお答えください。その際、一覧の中で、あなたが関心をお持ちの事項は何ですか。３つまで選んで「番号記入欄」に数字をご記入の上、それぞれについて、理由を右の枠内にご記入ください。

ア）「①インフラの早期再生と強靭化」

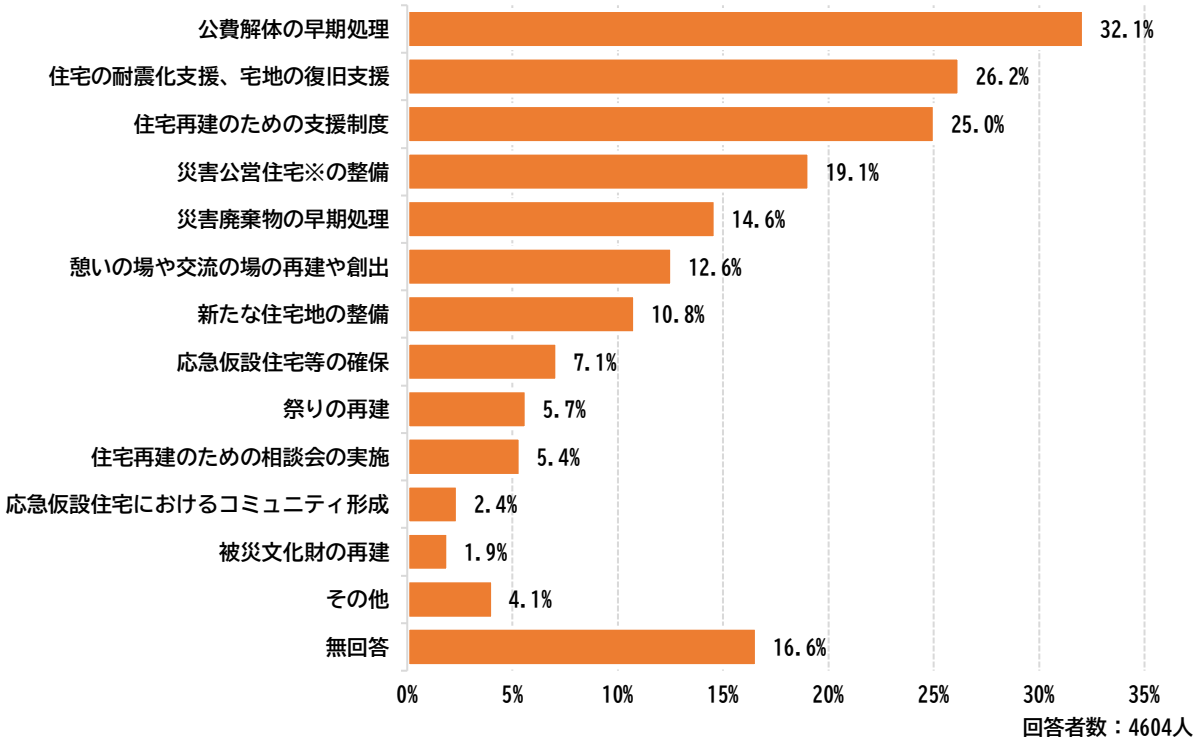
「道路の早期復旧」が 64.0%で最も高く、次いで「上下水道の早期復旧」が 27.9%の順となっている。




回答者数：4604人

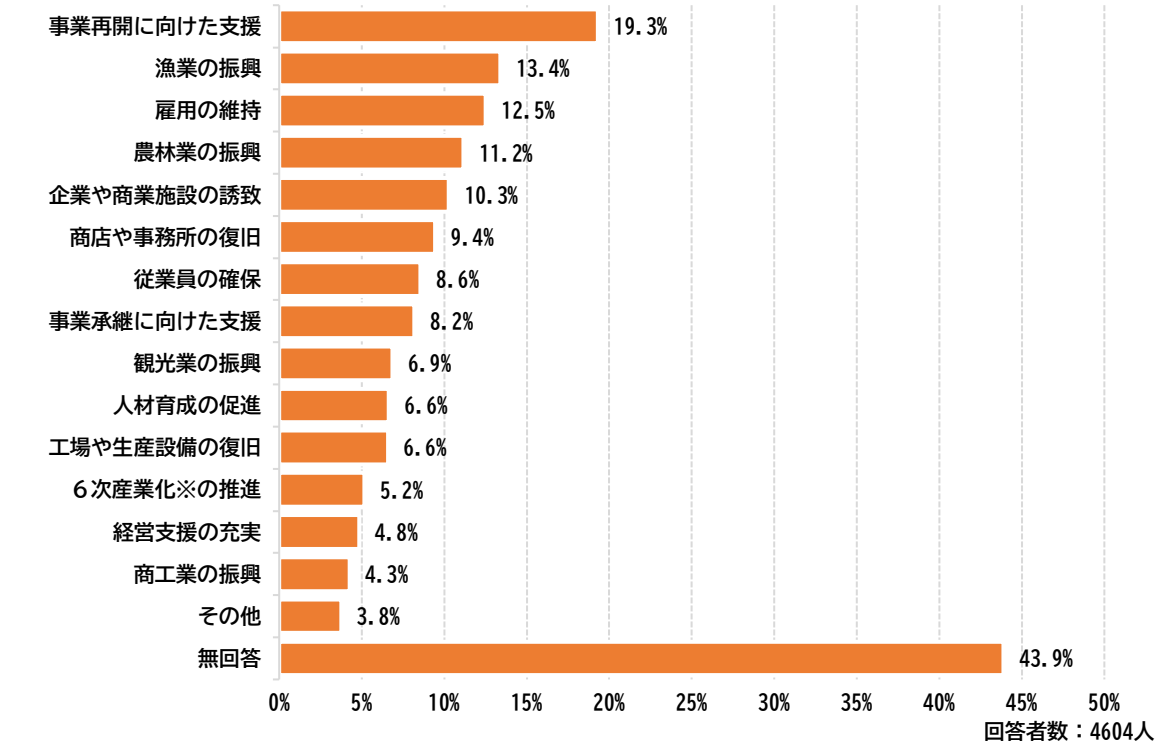
イ）「②くらしと地域コミュニティの再建」

「公費解体の早期処理」が 32.1%で最も高く、次いで「住宅の耐震化支援、宅地の復旧支援」が 26.2%の順となっている。



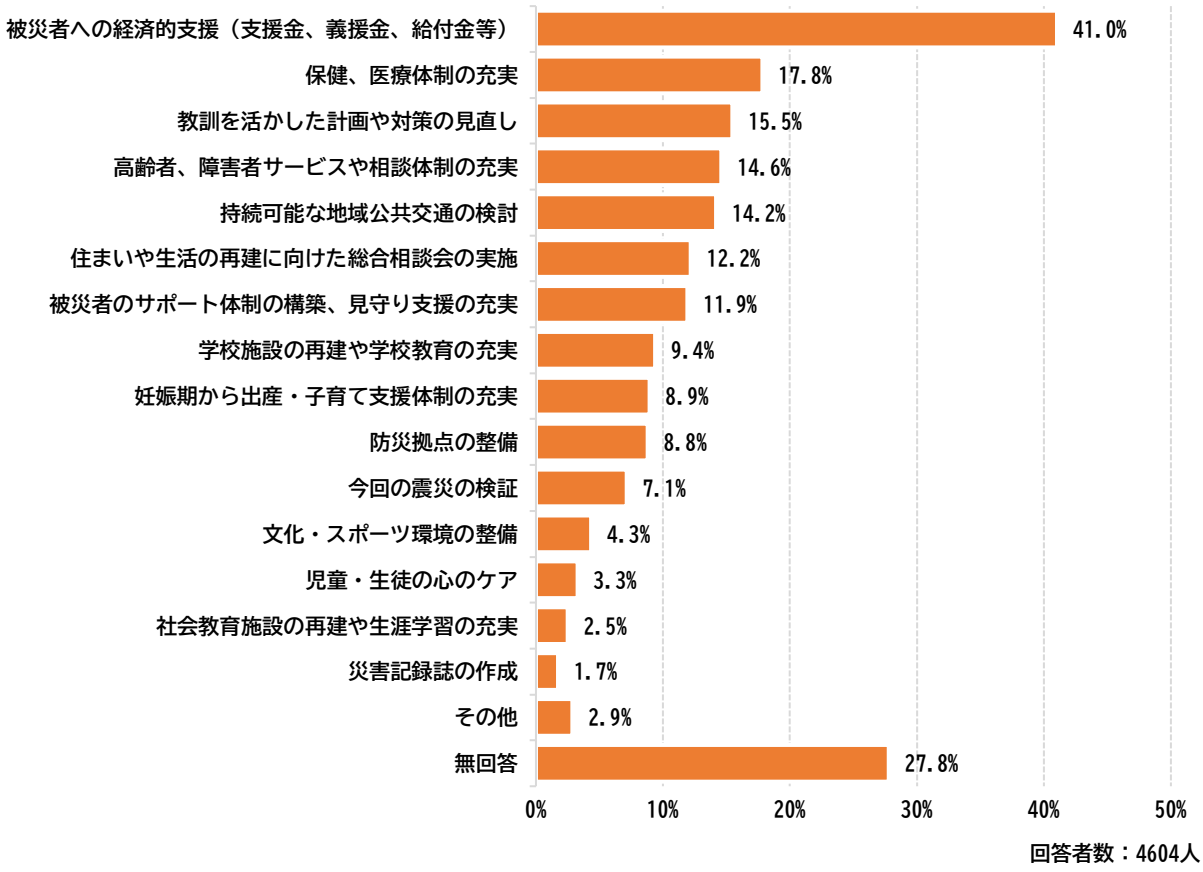

ウ）「③生業(なりわい)の再建」

「事業再開に向けた支援」が 19.3%で最も高く、次いで「漁業の振興」が 13.4%の順となっている。



エ)「④安心してくらし続けられるまちづくり」

「被災者への経済的支援（支援金、義援金、給付金等)」が 41.0%で最も高く、次いで「保健、医療体制の充実」が 17.8%の順となっている。




回答者数：4604人

## 5．能登町の良いところ、自慢できること

＜主なご意見＞

■自然が豊か・美しい景観がある

- 自然が多く海も山もあり、星空もある。自然に近い場所で子育てしたいと思っている世代にはとても良い環境だと思う。
- ゆたかな自然。東京から戻ってきましたが、すばらしい自然に毎日癒やされています。
- 自然が豊かな所だと思います。海も山もあり、現在も住んでいる人は環境を自慢すると思います。町外の方もうらやましがる点です。
- 日本の原風景が残っている。人の手入れが程々に入っている自然（畑や田んぼに癒されます。）

■観光資源が豊富

- イカの駅つくモールと遊覧船
- 観光スポットが多い。
- 桜の時期は矢波～波並の海岸通りはすばらしい。
- 柳田温泉

■祭りや伝統文化がある

- 江戸時代始め古い文化が引き継がれているところ
- 他では見られない独特の祭り文化
- 日本一の祭りがあり、すばらしい自然がある所
- 能登杜氏　キリコ祭　無形文化財あえのこと
- 小さい時から祭りが身近にありました。今でもあばれ祭りは特別です。祭りで友達にも会えるのが楽しみです。

■食べ物が美味しい

- 都会のスーパーではなかなか買えない豊かな食資源があふれている。
- お米やブルーベリー、しいたけ等の特産物も増えてきて、少しずつ有名になってきた。
- 農作物や魚がどこにも負けないくらい豊富で美味しい。強みだと思います。
- 海鮮類のおいしさ。石川県のイカは本当においしい。自慢出来る。
- 海産物のおいしいところ。ブリ、ブルーベリー、のとキリシマなど良いものが多い。

■静かでのんびりとした環境

- 時間がゆったりと流れているように感じる環境
- 自然環境など子供達を伸び伸び育てるのに適している。

■人が優しい・地域の結びつきが強い

- おせっかい過ぎる程にやさしい方が多いと思います。
- 人がやさしく、交流が気軽にできるところです。
- 能登人の人柄つながりを大事にし、辛抱強く生きる日々から自然と出る笑顔が外部の人から見ても魅力なようです。
- 希薄な人間関係では得られない人間らしい人との交流

・ 人と人のつながり、地域や町内の結束力

■災害時の助け合いがある

・ 苦しい状況にいても助け合い、支え合い、前を向こうとされている。
・ 互助力の素晴らしさ、震災後、避難をしたが近所の方々との連絡をとりながら能登へ戻る準備を進めることができた。
・ 私の町内の若い人達が大きい声をかけてくれて、何しとる、早く避難所に行かんと津波がくると言って手をひっぱってくれました。

■住みやすさ

・ 歩いて店や施設へ行ける（コンパクトに生活が出来ること）。
・ 街に出かけて楽しいけれどそのうち飽きる、疲れる。でも能登にいると気持ちが落ち着きます。
・ 台風もおとろえて来るし、水害も九州地方の様にひどくない。寒さも北海道に比べて、半分以下。という事で気候的に住みやすい。

■インフラ

・ 都会にアクセス出来る空港、道路があること
・ 他の市町よりインフラが強化されている。他市町からも居住したい声は沢山あります。

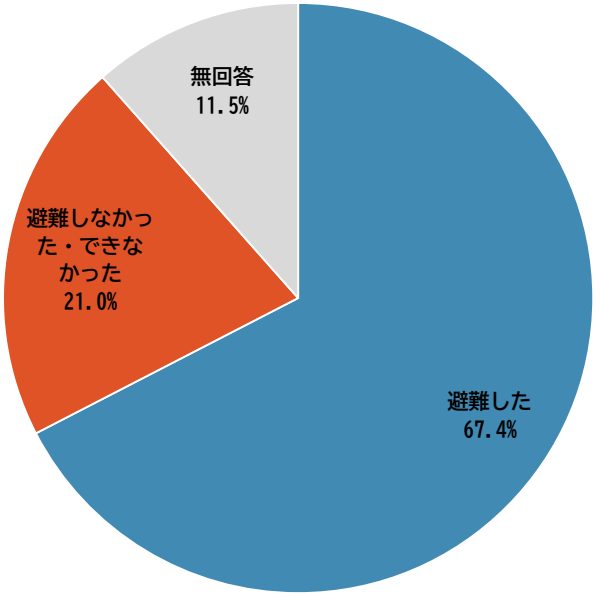
■その他のご意見

・ イカの駅つくモールをもう１度　早期復旧出来れば良い。
・ 能登町はインパクト的には漁業の町だと思います。ブリ、イカは全国的に有名ですし、世界農業遺産の一部にもなっています。

## 6.あなたの避難行動について

地震発生後に避難をしましたか。

全体の 67.4%が「避難した」、21.0%が「避難しなかった・できなかった」となっている。

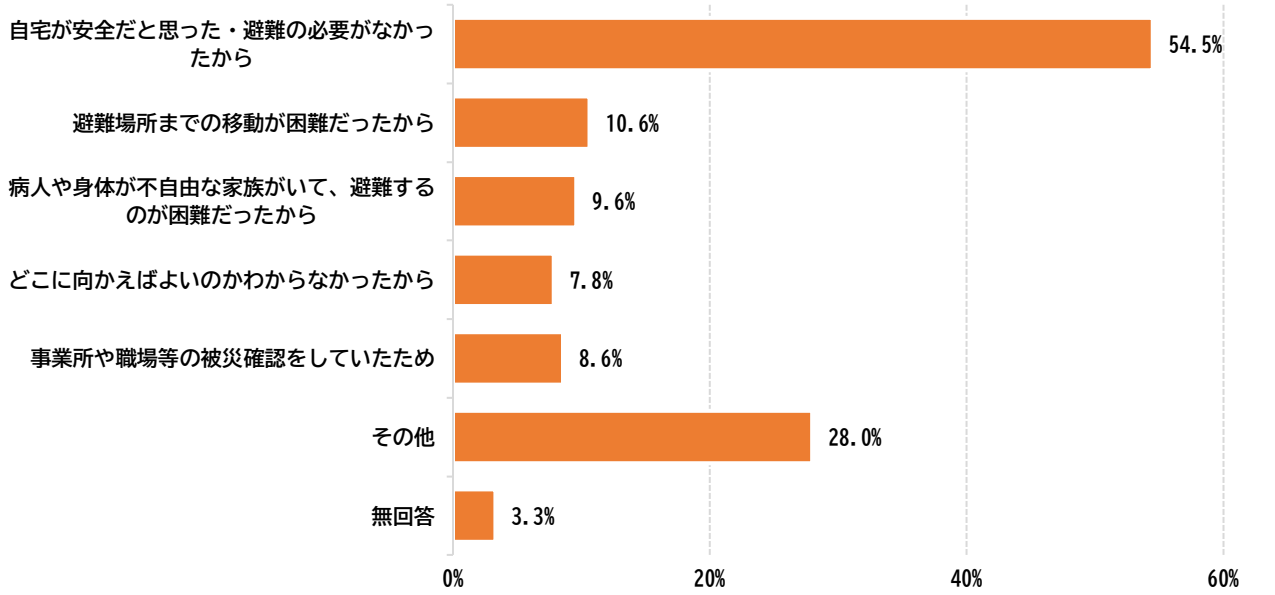



回答者数：4604人

上記で「2. 避難しなかった・できなかった」と回答した方におたずねします。

避難しなかった・できなかった理由は何ですか。

「自宅が安全だと思った・避難の必要がなかったから」が 54.5%で最も高く、次いで「避難場所までの移動が困難だったから」が 10.6%の順となっている。




回答者数：969

## （2） 次世代アンケート調査

復興計画の策定にあたり、今後の復興において本町の将来を担う中高生の皆さんの想いや考えを反映した計画とするため、本町内外に通学する中高生を対象とした次世代アンケート調査を実施しました。

**表　次世代アンケート調査の概要**

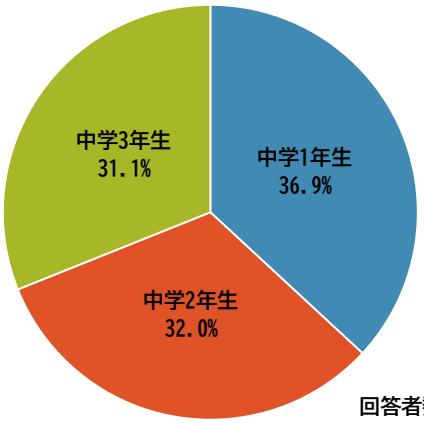
| | |
|---|---|
| **調査期間** | 令和６年７月４日（木）～８月 19 日（月） |
| **配布数** | 能登町内外に通学する全中高生（中学生：213 名、高校生：337 名） |
| **調査項目** | ○個人属性　　○将来のイメージ<br>○能登町の将来　○能登町の復興　　○町長になったら取り組むこと |
| **回答数・回収率（８/19 時点）** | 【中学生】回答数：206 名　回収率：96.7%<br>【高校生】回答数：135 名　回収率：40.1% |
| **結果概要** | **１．あなた自身について**<br>・震災前の居住地区は、能登町内では、「宇出津地区」、「柳田地区」、「小木地区」の順に多かった。<br>・現在の住まいは、自宅（震災前と同じ）が最も多かった。<br><br>**２．将来のイメージについて**<br>・大学進学時は能登町外に居住したい（金沢市、東京都等）という回答が多く挙げられた。理由としては、「行きたい学校が地区外にあるから」という回答が大多数を占めている。<br>・就職時に能登町以外に住みたいと考える理由として、「新しい環境・生活にチャレンジしたいから」、「将来やりたい仕事（職場）が地区外にあるから」、「東京、大阪、金沢など都市に憧れがあるから」、「日常生活が不便だから」が４割程度と多く挙げられた。なお、中学生は、新しい環境や都市への憧れ、高校生は、職があり子育て環境が整ったところに住みたいことが多く挙げられた。<br><br>**３．能登町の将来について**<br>・能登町の好きなところ、魅力に感じるところ、自慢できるところとして、自然（里海里山等）、祭りが多く挙がった。<br>・希望する将来の能登町の姿について、「祭りが受け継がれているまち」が最も多く、次いで「災害への備えが十分になされているまち」が多く挙がった。<br>・興味のある取組について、「高速な通信環境の整備」、「金沢と能登を結ぶ高速交通の実現」が多かった。<br>・将来、「能登町外で暮らしつつも、定期的にお祭りなど地元の行事に参加したい」人が最も多かった。<br><br>**４．能登町の復興について**<br>・復興において必要だと思うことについて、コンビニをはじめとする店舗の設置や営業時間の延長、道路や交通（バスの本数を増やす等）の整備が多く挙がった。<br>・能登町の復興への関わり方について、「何をしてよいかわからない」が最も多く、それを除くと「地域のボランティア活動に参加したい」、「能登町の同世代と将来の能登町について考えたい」、「学校で友達と将来の能登町について考えたい」の順に多かった。 |

## １．あなた自身のこと

【中学生】【高校生】あなたの学年を教えてください。

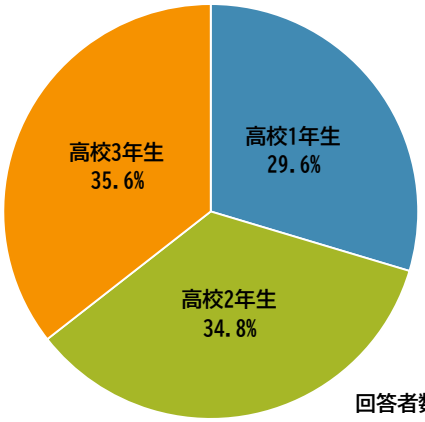
【中学生】「中学１年生」が 36.9%、「中学２年生」が 32.0%、「中学３年生」が 31.1%であった。
【高校生】「高校１年生」は 29.6%、「高校２年生」は 34.8%、「高校３年生」は 35.6%であった。

【中学生】




回答者数：206人

【高校生】

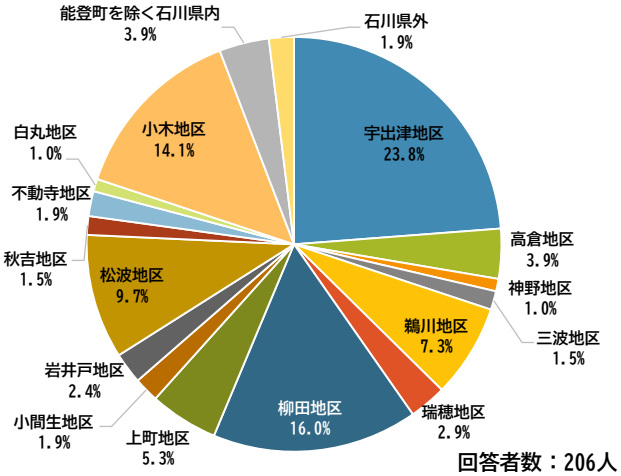



回答者数：135人

【中学生】【高校生】あなたは震災前にどこに住んでいましたか。

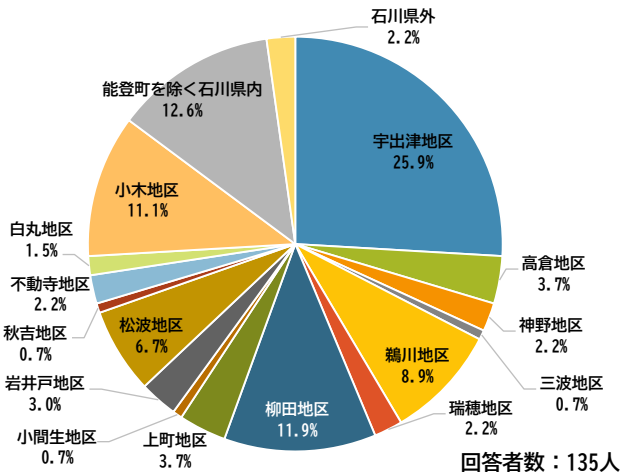
【中学生】震災前の居住地区は、「宇出津地区」が 23.8%、「柳田地区」が 16.0%、「小木地区」が 14.1%、「松波地区」が 9.7%であった。
【高校生】震災前の居住地区は、「宇出津地区」が最も多く 25.9%であった。

【中学生】




回答者数：206人

【高校生】

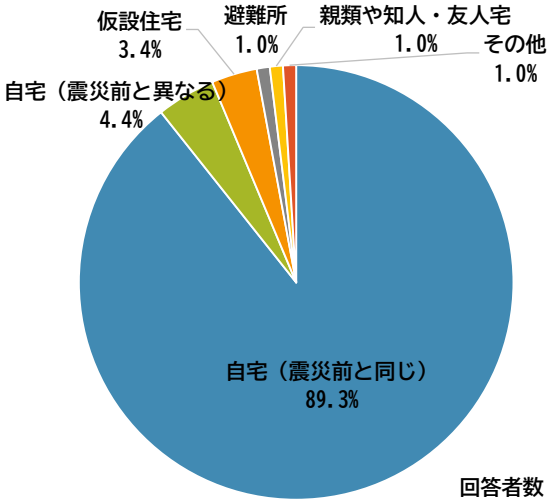



回答者数：135人

【中学生】【高校生】あなたの現在の住まいを教えてください。

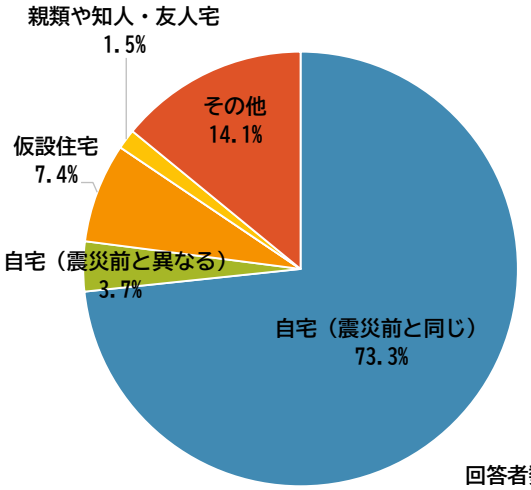
【中学生】現在の住まいは、「自宅（震災前と同じ）」が最も多く 89.3%であった。
【高校生】現在の住まいは、「自宅（震災前と同じ）」が最も多く 73.3%であった。

【中学生】




回答者数：206人

【高校生】



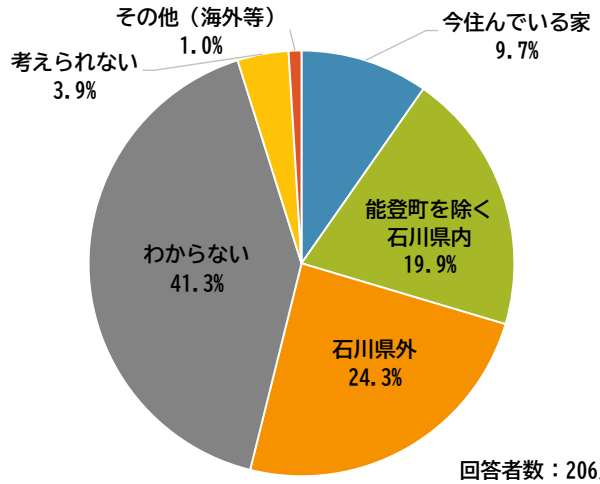

回答者数：135人

## 2．あなたの将来のイメージ

【中学生】【高校生】あなたは、就職するとき、どこに住みたいと思いますか。

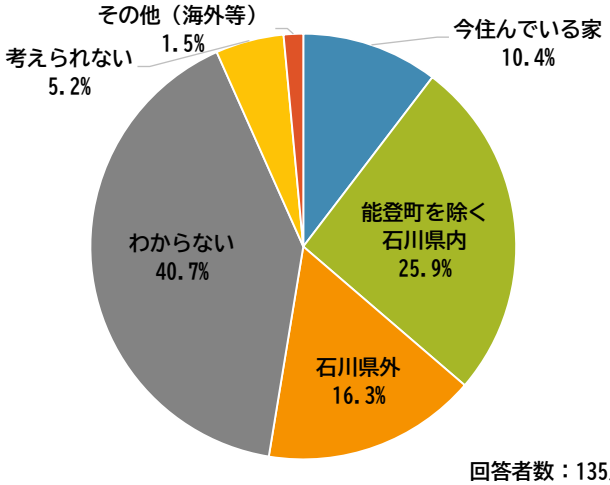
【中学生】就職時に希望する居住地は、「今住んでいる家」が 9.7%、「能登町を除く石川県内」と「石川県外」のいずれかの合計は 44.2%であった。
【高校生】就職時に希望する居住地は、「今住んでいる家」が 10.4%、「能登町を除く石川県内」と「石川県外」のいずれかの合計は 42.2%であった。

【中学生】




回答者数：206人

【高校生】

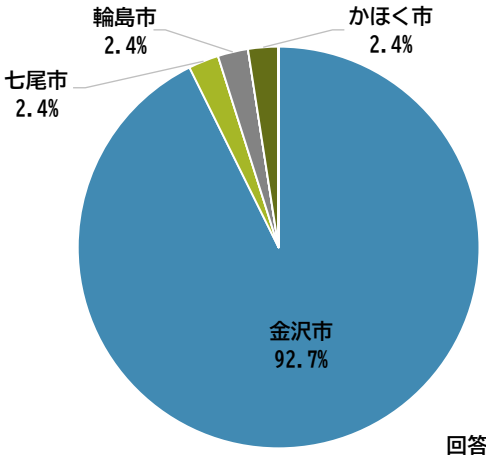



回答者数：135人

【中学生】【高校生】あなたは、就職するとき、どこに住みたいと思いますか。（市町）

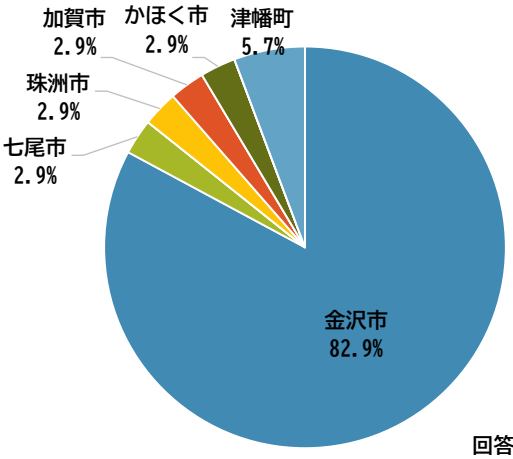
【中学生】就職時に能登町を除く石川県内に住みたい人のうち、92.7%は「金沢市」と回答した。
【高校生】就職時に能登町を除く石川県内に住みたい人のうち、82.9%は「金沢市」と回答した。

【中学生】




回答者数：41人

【高校生】

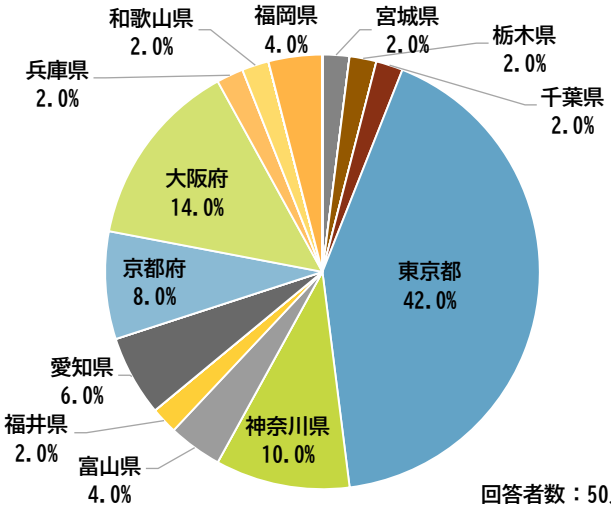



回答者数：35人

【中学生】【高校生】あなたは、就職するとき、どこに住みたいと思いますか。（都道府県）

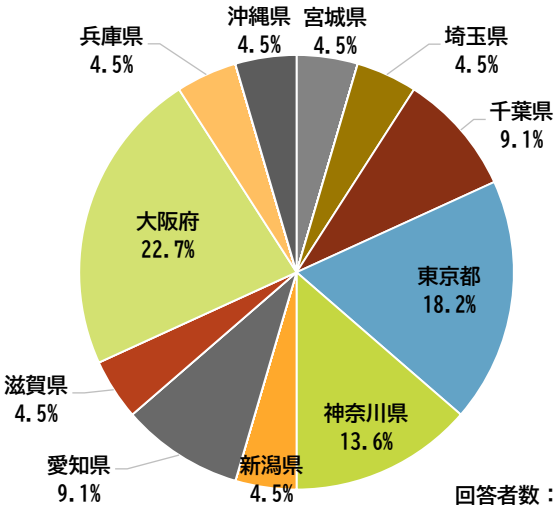
【中学生】就職時に、石川県外に住みたい人のうち、42.0%は「東京都」、14.0%は「大阪府」、10.0%は「神奈川県」と回答した。
【高校生】就職時に、石川県外に住みたい人のうち、22.7%は「大阪府」、18.2%は「東京都」、13.6%は「神奈川県」と回答した。

【中学生】




回答者数：50人

【高校生】

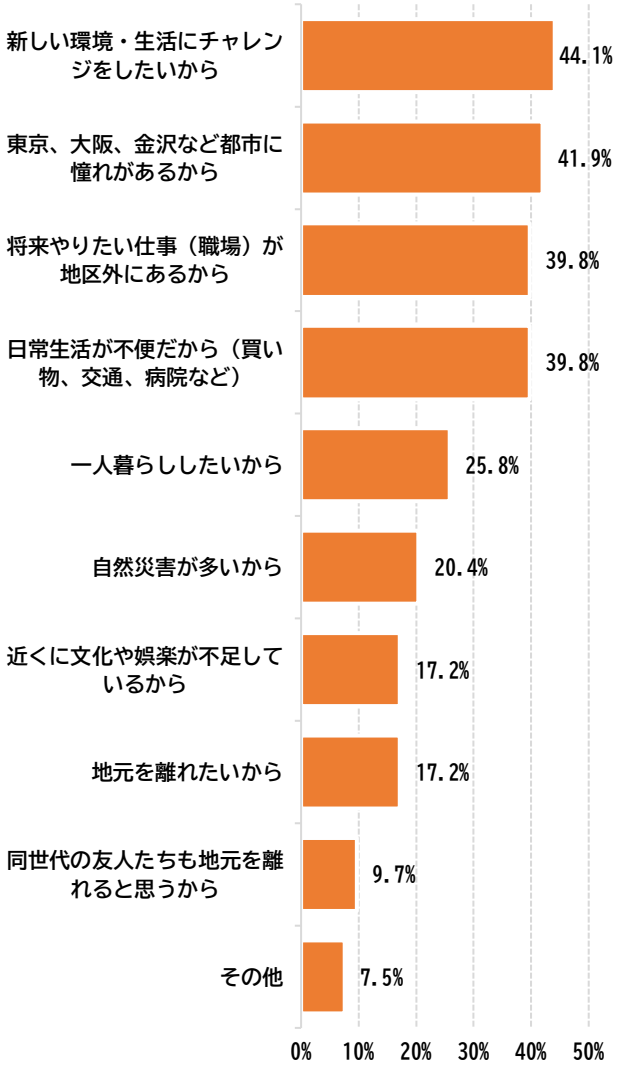



回答者数：22人

【中学生】【高校生】上記で「2. 能登町を除く石川県内」「3. 石川県外」「6. その他（海外等）」を選んだ人は、その理由を教えてください。*複数回答可

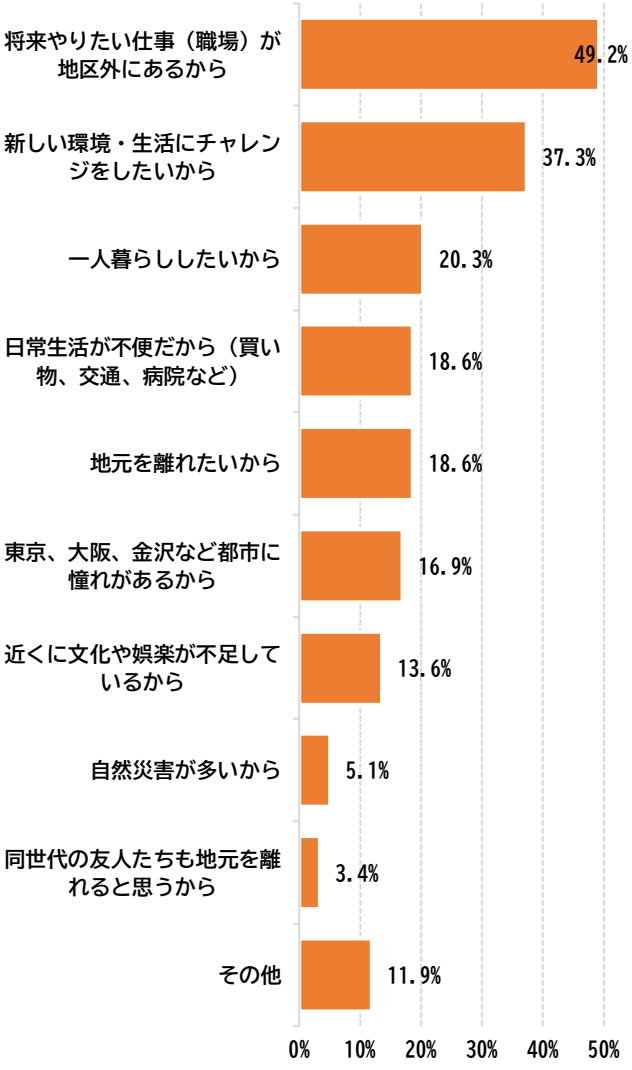
【中学生】就職時に能登町外以外に住みたい理由は、「新しい環境・生活にチャレンジをしたいから」（44.1%）、「東京、大阪、金沢など都市に憧れがあるから」（41.9%）が多かった。
【高校生】就職時に能登町外以外に住みたい理由は、「将来やりたい仕事（職場）が地区外にあるから」（49.2%）、「新しい環境・生活にチャレンジしたいから」（37.3%）が多かった。

【中学生】




回答者数：93人

【高校生】




回答者数：59人

## 3．能登町の将来について

能登町の好きなところ、魅力に感じるところ、自慢できるところを教えてください。

【中学生】

能登町の好きなところ、魅力に感じるところ、自慢できるところとして、自然（海、星等）が最も多く挙がった。

＜主なご意見＞

■祭りや伝統文化がある

- 祭りや輪島塗など伝統文化
- 祭りが楽しい
- 祭りがたくさんあるところ
- あばれ祭りが好きだから
- あばれ祭り最高―
- 松波人形キリコ祭り

■人が優しい・地域の結びつきが強い

- 明るくて元気で助け合えるところが自慢
- みんな優しい
- 能登は、みんながそれぞれを知っていて、みんなが友達なところが好きです。
- 人との関わりが深い

■食べ物が美味しい

- 美味しい食べ物がたくさんある
- ご飯が美味しい
- 魚が美味しいところ
- ブルーベリー

■住みやすさ

- 治安がいいところ

■自然が豊か

- 自然豊かなところ
- 自然が多い
- 自然がきれい
- ありふれた自然と穏やかさ
- 海がきれいなところ
- 豊かな自然や海がある
- 景色が綺麗
- 空気がきれい
- 星が綺麗
- 自然に囲まれており、虫の鳴き声が聞こえること

【高校生】

能登町の好きなところ、魅力に感じるところ、自慢できるところとして、自然（里海里山等）、祭りが多く挙がった。

＜主なご意見＞

■祭りや伝統文化がある

- 祭り！！
- あばれ祭りやにわか祭りなどの参加できる祭りがある
- あばれ祭が自慢できる
- 祭りがたくさんあるところ
- 祭りがとても楽しい
- 祭りに関して活発なところ
- まつりなどの伝統文化を大切にして、受け継いできていること

■人が優しい・地域の結びつきが強い

- いい人達がいっぱいいる
- 地域の輪がしっかりある
- 地域の人のつながりが強いこと
- 地域の人が温かいところ

■食べ物が美味しい

- 食べ物が美味しい
- 海の幸が美味しい
- 魚などが新鮮
- 水産が盛んなところ
- 魚や山菜などの自然物がおいしいところ

■住みやすさ

- 帰ったら安心できるところ
- 過ごしていて少し安心できる場所
- 犯罪が少ない

■自然が豊か

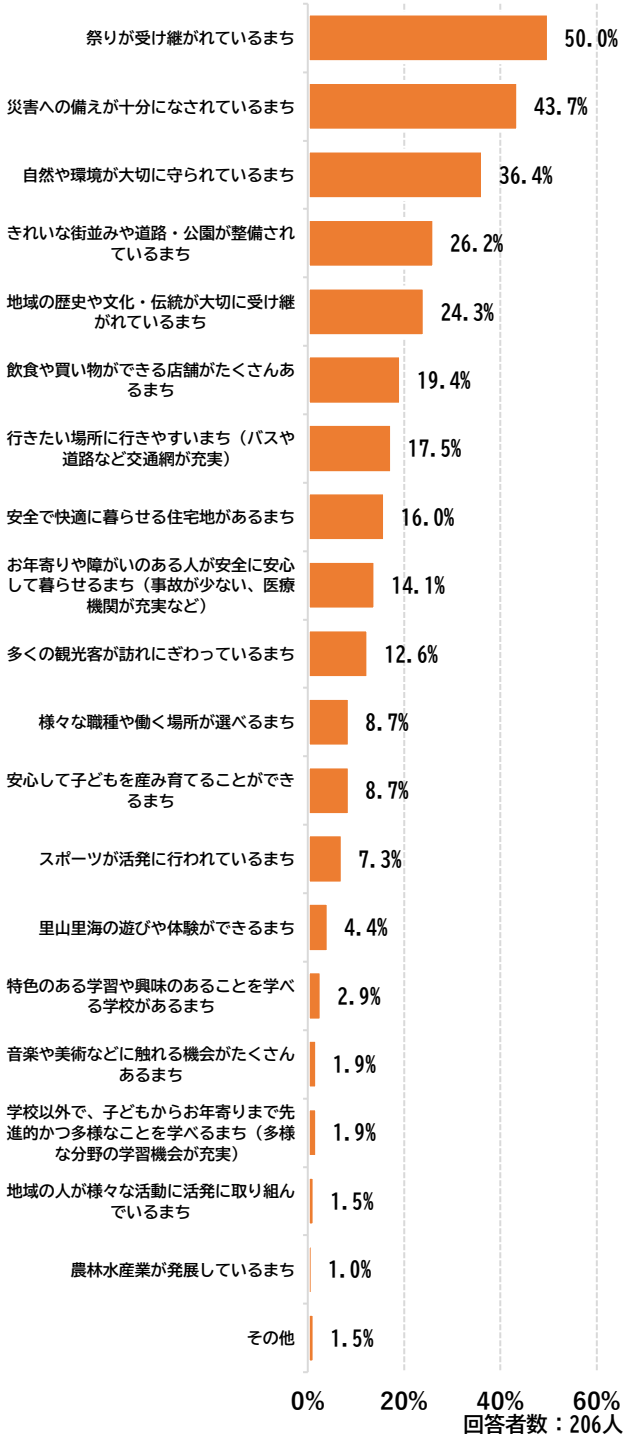
- 自然豊か
- どこよりも自然が豊かできれい
- 里山里海などの自然が身近
- 里山里海が充実
- 山や海などの自然が綺麗
- おだやかな空気と自然が溢れているところ
- 空気が美味しい

あなたが大人になったとき、能登町はどんなまちになっていてほしいですか。３つ選んでください。

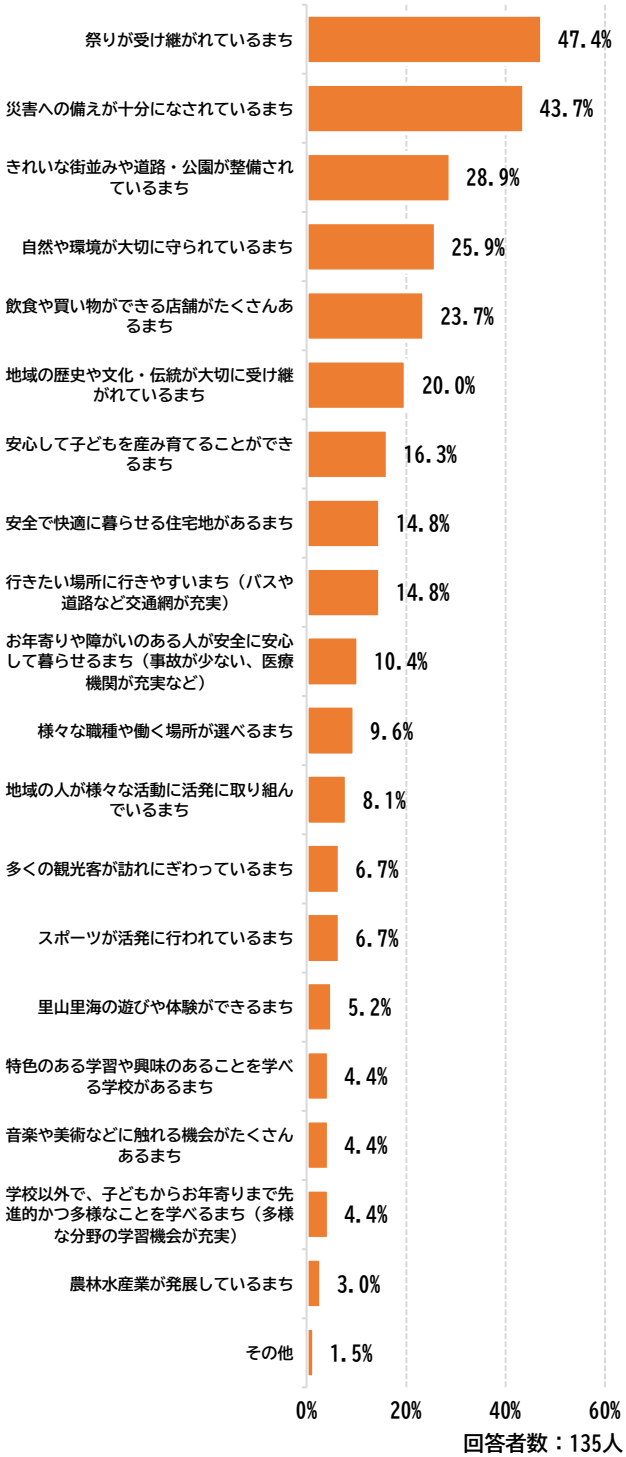
【中学生】希望する将来の能登町の姿について、「祭りが受け継がれているまち」（50.0%）、「災害への備えが十分になされているまち」（43.7%）、「自然や環境が大切に守られているまち」（36.4%）が多かった。

【高校生】希望する将来の能登町の姿について、「祭りが受け継がれているまち」（47.4%）、「災害への備えが十分になされているまち」（43.7%）が多かった。

【中学生】



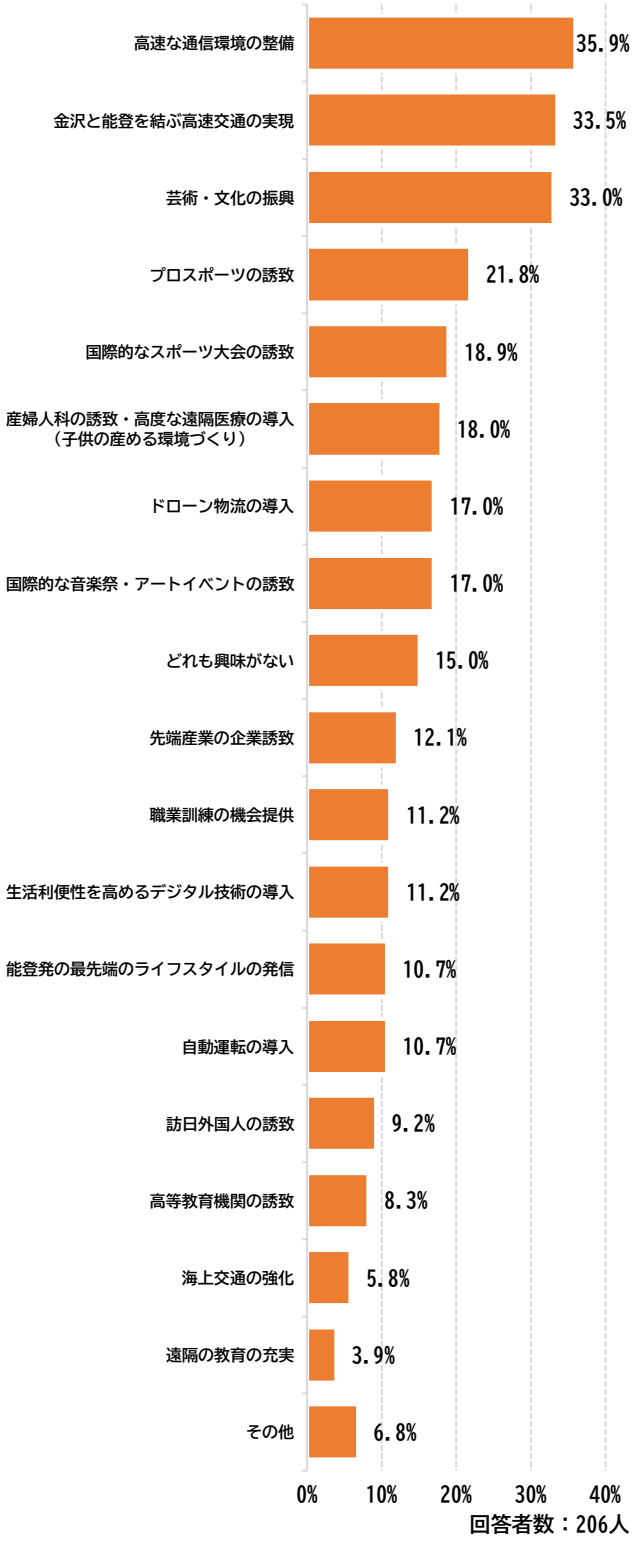

【高校生】



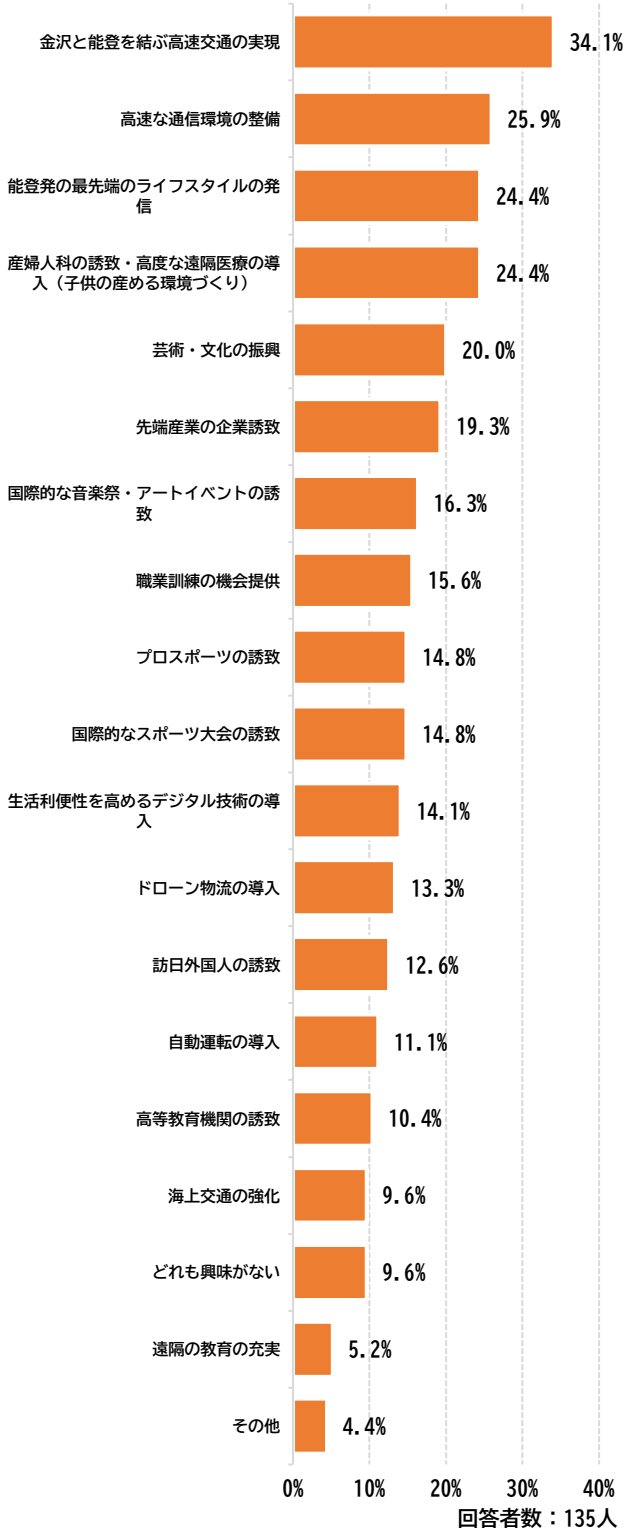
あなたは、どんな取り組みに興味がありますか。３つ選んでください。

【中学生】興味のある取り組みについて、「高速な通信環境の整備」（35.9%）、「金沢と能登を結ぶ高速交通の実現」（33.5%）、「芸術・文化の振興」（33.0%）が多かった。
【高校生】興味のある取り組みについて、「金沢と能登を結ぶ高速交通の実現」（34.1%）が多かった。

【中学生】



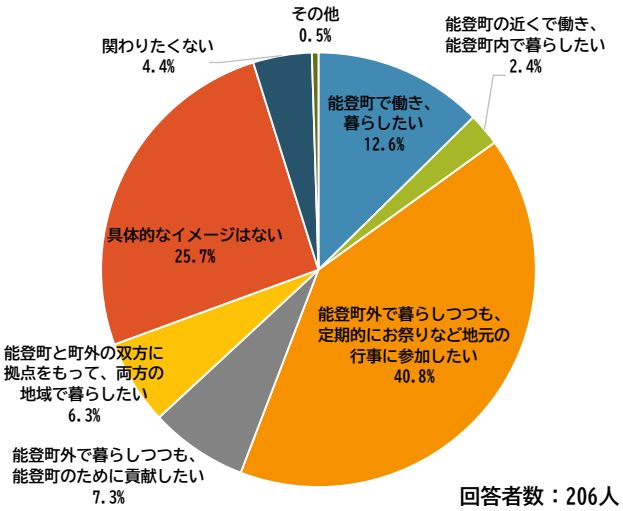

【高校生】



あなたは将来的に能登町にどのように関わっていきたいですか。

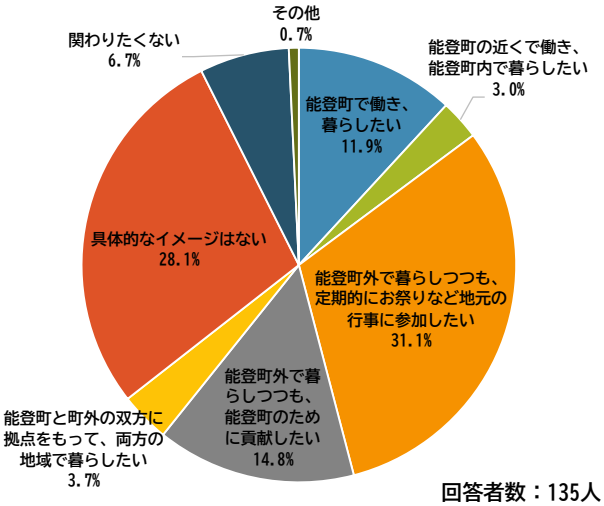
【中学生】将来、「能登町で働き、暮らしたい」人は 12.6%であり、「能登町外で暮らしつつも、定期的にお祭りなど地元の行事に参加したい」人が 40.8%と最も多かった。
【高校生】将来、「能登町で働き、暮らしたい」人は 11.9%であり、「能登町外で暮らしつつも、定期的にお祭りなど地元の行事に参加したい」人が 31.1%と最も多かった。

【中学生】




回答者数：206人

【高校生】




回答者数：135人

## 4．能登町の復興について

あなたが能登町の復興において必要だと思うこと、あってほしいことを出来る限り具体的に教えてください。

【中学生】

スーパーやショッピングモール、コンビニ等の店舗、道路や交通の整備が多く挙がった。

＜主なご意見＞

■1．インフラの早期再生と強靭化

- 道路をきれいにしてほしい。
- 道路がまだガタガタなので、早く直してほしい（丁寧に）。

■2．くらしと地域コミュニティの再建

- 近くにファーストフード店がほしい。
- 飲食店やお店をもっと建てる。
- スーパーなど色々な物が買えるお店がほしい。
- イオンなどの大きな店があったらいい。
- 衣類などが買えたりする店がほしい。
- 24 時間・震災にあっても開いている頑丈なコンビニ的なお店があったらいいなと思います。
- 近くにコンビニやスーパーをおいてほしい！！
- 金沢に行ける、お金を支払うとき安いバス
- バスやタクシーなどの人を運送するものを増やしてほしい。
- 子どもの遊べる場所を増やしてほしい。
- マンションが欲しい。
- 潰れた家を解体してほしい。

■3．生業の再建

- 観光地やイベントがたくさんあることだと思う。
- 観光地を増やすこと。

■4．安心してくらし続けられるまちづくり

- 地震が起こったときに地域が孤立しないようにして欲しい。
- 地震に耐性のある避難所を多くつくること。
- 柳田中学校の体育館を直してほしい。
- 中学校を統合する。
- 一人で暮らしているご年配の方の体調が悪くなってしまった時にすぐに 119 できる整備
- 大きな病院

■5．復興プロジェクトの創出

- 寄付されたお金をまともに使うこと。
- 工事してくれる人たちの宿
- 努力、諦めない。

【高校生】

コンビニをはじめとする店舗、交通に関すること（公共交通、自動運転車等）が多く挙がった。

＜主なご意見＞

■１．インフラの早期再生と強靭化

- まずは道路の交通整備できるだけみんなが安心して行き来できるようになってほしい。
- 整った広い道路

■２．くらしと地域コミュニティの再建

- 自動運転車
- バスが少ないので増やしてほしい。
- 公共の交通機関の選択肢が増えてほしい。
- 地元に店を増やしてほしい。
- 夜遅くまでやっているお店
- 家の近くにコンビニがなく不便なので、宇出津以外の地区にもコンビニがほしい。
- 大きいスーパーマーケットがあったらいい。
- 年配の方々でも買い物しやすい位置にスーパーを作る。
- なんでもあるショッピングモールが欲しい。
- フード店が欲しい。
- 娯楽も楽しめるモータースポーツ施設
- 家が倒壊している人の建て直しはもちろん、直さないと住めない人の気持ちを考えて欲しい。
- ＡＴＭほしい。

■３．生業の再建

- 働く場所が必要。元の能登の景色に戻す。
- 会社がだめになった人がたくさんいるので仕事が必要だと思う。
- どういった産業を発展させるのかを明確にする→あれもこれもやるより一部のことに力を入れたほうがよくなる気がする。

■４．安心してくらし続けられるまちづくり

- 育児がしやすい環境をつくる→今後在宅ワークが広く普及していけば、子育てがしやすい場所に人は集まると考えられるから。
- 能登の学生を増やす→学生生活を過ごした思い出の地として住みたいと思ったりするかも。
- 医療の充実、老後の安定

■５．復興プロジェクトの創出

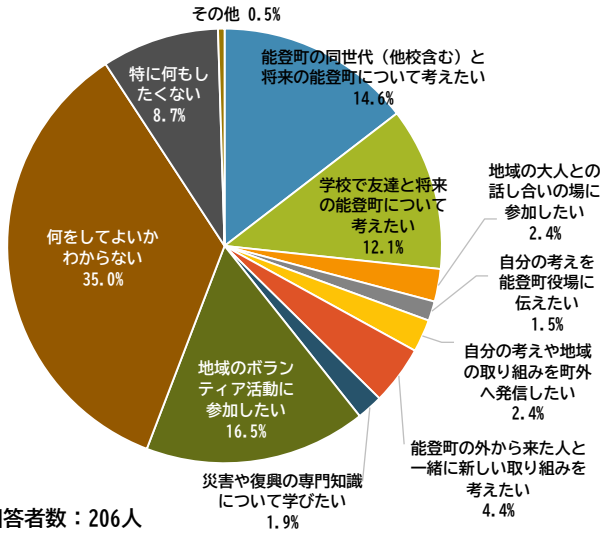
- みんなが楽しめ、前向きになれるようなイベント
- 若い人の人口増加
- 地域の力 笑顔
- 高齢者の意見ばかりを気にしないこと、もっと若い人（10～40 代）の意見を取り入れること（高齢者だけが満足しても若い人は能登から出ていくし、外から人は来ない。）

能登町の復興にどのように関わりたいですか。

【中学生】能登町の復興への関わり方について、「地域のボランティア活動に参加したい」人は16.5%、「能登町の同世代と将来の能登町について考えたい」人は14.6%、「学校で友達と将来の能登町について考えたい」人は12.1%であった。「何をしてよいかわからない」人が35.0%と最も多かった。

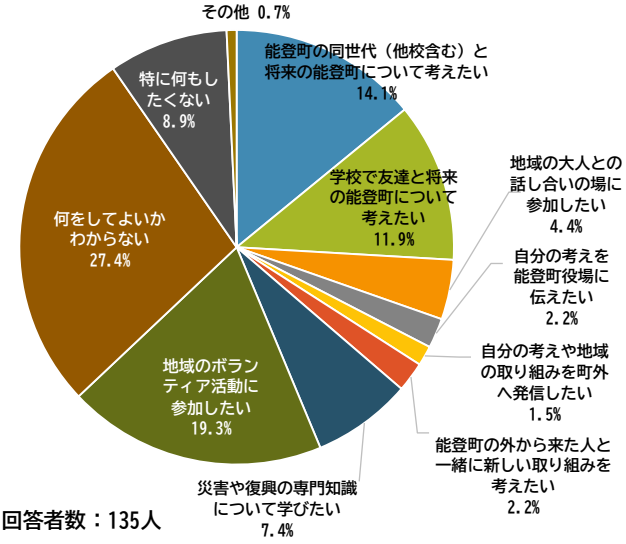
【高校生】能登町の復興への関わり方について、「地域のボランティア活動に参加したい」人は19.3%、「能登町の同世代と将来の能登町について考えたい」人は14.1%、「学校で友達と将来の能登町について考えたい」人は11.9%であった。「何をしてよいかわからない」人が27.4%と最も多かった。

【中学生】




回答者数：206人

【高校生】




回答者数：135人

# 3　復興推進委員会・部会

## 3-1　復興計画推進委員会設置要綱

能登町復興推進委員会設置要綱

**（設置）**

**第１条**　令和６年能登半島地震からの復旧・復興（以下「復旧・復興」という。）の推進に関する意見を聴取するため、能登町復興推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

**（所掌事項）**

**第２条**　委員会は、復旧・復興に向けた計画のほか、復旧・復興を推進するために必要な事項について協議し、町長に意見を述べるものとする。

**（組織）**

**第３条**　委員会は、委員 25 人以内をもって組織し、委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

(1)　関係諸団体の代表から推薦を受けた者

(2)　知識経験を有する者

(3)　その他町長が必要と認める者

２　委員の任期は、１年とする。但し委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

**（委員長及び副委員長）**

**第４条**　委員会に委員長及び副委員長を各１人置き、委員の互選によりこれを定める。

２　委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（アドバイザー）

**第５条**　委員会にアドバイザーを置くことができる。

２　アドバイザーは、町長が委嘱する。

３　アドバイザーは、会議に出席し、助言することができる。

４　アドバイザーの任期は、１年とする。

（会議）

**第６条**　委員会の会議（以下「会議」という。）は、委員長が招集し、その議長となる。

２　会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

３　委員長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、説明及び意見を聴取し、並びに資料の提出を求めることができる。

（部会）

**第７条**　委員会の協議をより専門的に行うとともに、委員会の円滑な運営に資するため、委員会に「すまいと暮らしの再建・安全な地域づくり部会」及び「産業・経済復興部会」の２部会を置く。

２　部会は、委員長が指名する委員及び町民又は災害復旧・復興に関し識見を有する者のうちから町長が委嘱するものをもって組織する。

３　部会に部会長１人を置き、委員長がこれを指名する。

４　部会の運営に関し必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

５　部会長は、必要があると認めるときは、部会に関係者の出席を求め、説明及び意見を聴取し、並びに資料の提出を求めることができる。

（報酬）

**第８条**　委員及びアドバイザーの報酬は、特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例（平成 17 年能登町条例 41 号）に準ずる。

（庶務）

**第９条**　委員会及び部会の庶務は、能登町復興推進課において処理する。

（補則）

**第 10 条**　この要綱に定めるもののほか、委員会の運営その他に関し必要な事項は町長が別に定める。

# 3-2 復興推進委員会委員名簿

| 委員区分 | 氏　　名 | 役職等 | 部会 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | すまいと暮らしの再建・安全な地域づくり | 産業・経済復興 |
| 公共的団体等の役員又は関係諸団体の代表が推薦する者 | 坂上 信彦 | 能登町町会区長会連合会 会長 | ○ | |
| | 川崎 時夫 | 能登町町会区長会連合会 副会長(～9/26) | ○ | |
| | 小坂 智 | 能登町町会区長会連合会 副会長 | ○ | |
| | 山森 景治 | 能登町町会区長会連合会柳田支部副支部長(11/1～) | ○ | |
| | 坂口 浩二 | 能登町校長会 代表 | ○ | |
| | 千間 純二 | 能登北部医師会 会長 | ○ | |
| | 重野 さとみ | 能登町婦人団体協議会 会長 | ○ | |
| | 水元 圭介 | 能登町観光協会 副会長 | | ○ |
| | 玉地 正幸 | 能登町商工会 青年部長 | ○ | |
| | 中田 洋助 | 石川県漁業協同組合 | | ○ |
| | 西出 穣 | 能登農業協同組合 | | ○ |
| | 高木 功次郎 | 能登森林組合 | | ○ |
| | 豊若 裕治 | 興能信用金庫 復興支援部主任調査役 | | ○ |
| 町民 | 辻野 実 | 株式会社 SCARAMANGA 代表取締役 | | ○ |
| | 薮下 哲也 | 合同会社 松寿 代表社員 | | ○ |
| | 鶴野 薫子 | 会社員 | | ○ |
| | 池崎 万穂 | 会社員 | ○ | |
| | 福池 功 | 北能産業 株式会社 代表取締役 | ○ | |
| | 上野 朋子 | 会社員 | | ○ |
| | 芳野 欽之 | 芳野会計グループ 代表 | | ○ |
| | 森 進之介 | 能登町定住促進協議会 事務局次長 | ○ | |
| | 金七 聖子 | 松波酒造 株式会社 若女将 | | ○ |
| 学識経験を有する者 | 小野田 泰明 | 東北大学大学院<br>工学研究科都市・建築学専攻教授 | ○ | |
| | 谷内江 昭宏 | 金沢大学能登里山里海未来創造センター<br>里山里海創造ワーキンググループ座長 | ○ | |

| 区　分 | 氏　　名 | 役職等 | 主な分野 |
|---|---|---|---|
| 能登町復興推進アドバイザー | 今村 久美 | 認定特定非営利活動法人 カタリバ 代表理事 | 教育 |
| | 島田 由香 | 株式会社 YeeY 共同創業者/代表取締役 | 関係人口 |
| | 高橋 博之 | 株式会社 雨風太陽 代表取締役 | 生業・農林水産業 |
| | 肥田 浩 | 一般社団法人 OPEN JAPAN 副代表 | 被災者支援 |